

第34回日本道路会議 プログラム

— 2021.11.4(木)～11.5(金) —

公益社団法人 日本道路協会

目 次

参加者の皆様へ	2
第 34 回日本道路会議会場案内	3
会場図	4
タイムテーブル	5
第 34 回日本道路会議プログラム	7
パネルディスカッション	9
「高速道路ネットワークの半世紀～現代日本文明の創造～」	
基調講演・パネルディスカッション	10
「子どもをはじめとする地域の安全・安心に向けて」	
ワークショップ	11
「PIARC（世界道路協会）の取組ワークショップ ～ TC4.4 トンネルでの取組（共催）～」	
基調講演・パネルディスカッション	12
「次世代モビリティの実装と地域デザイン」	
基調講演・パネルディスカッション	13
「道路システムの DX がもたらす社会革新」	
基調講演・パネルディスカッション	14
「脱炭素社会の道路の利活用」	
一般論文・事例報告発表 目次	15
論文・事例報告の概要と主要課題	16
一般論文・事例報告 口頭発表	23
(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	24
(2) 道路管理・修繕・更新部門	36
(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門	43
(3)-2 建設・施工技術（土工）部門	64
(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門	70
(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門	78
一般論文・事例報告 ポスターセッション	83

第34回日本道路会議

令和3年11月4日(木)～11月5日(金)

会場：都市センターホテル

参加者の皆様へ

1. 受付について

11月4日(9時00分～12時00分) : 3階 コスモスホール前
(12時00分～) : 6階 601号室前
11月5日(8時30分～) : 6階 601号室前

2. コピーサービスについて

会場内では、コピーサービス等を行っておりませんので、必要論文等は事前に印刷して、ご持参下さい。

3. 事務局

6階 603号室

4. プログラムについて

* A3判のタイムテーブルに沿って、2日間、各プログラムを開催します。

①口頭発表：各部門ごとに論文・事例報告発表

※発表会場には各セッションの開始5分前には入室し、セッション中の離席はご遠慮下さい。

1 論文・事例報告の発表時間＝発表12分(質疑応答は含まない)

②ポスターセッション：2日間にわたり個別対応による質疑応答(指定時間のみ)

・4日 13時00分～16時45分

【計画・環境・安全・情報・マネジメント部門、道路管理・修繕・更新部門、建設・施工技術(土工・橋梁)部門】

・5日 9時30分～14時45分

【建設・施工技術(舗装)部門】

5. アンケートについて

会議終了後WEBアンケートにご協力下さい。

6. その他注意事項

①会議室内での携帯電話の使用はご遠慮下さい。

②貴重品はお預かりしませんので、各自管理願います。

※プログラムに掲載されている所属は、原稿提出時の所属で統一しておりますのでご了承下さい。

第34回日本道路会議 会場案内

都市センターホテル

TOSHI CENTER HOTEL

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

TEL 03-3265-8211 (代表)

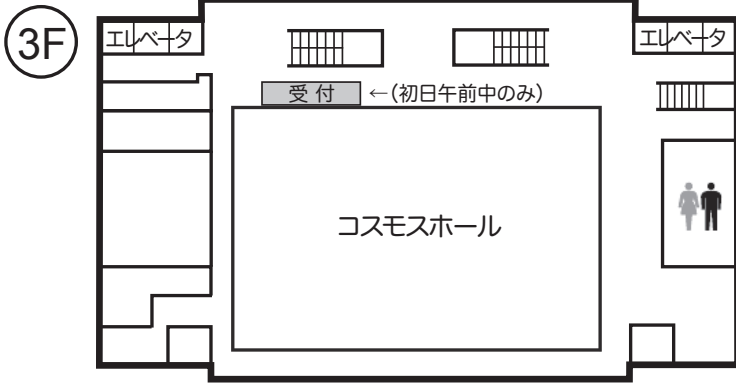
<https://www.rihga.co.jp/toshicenter/>



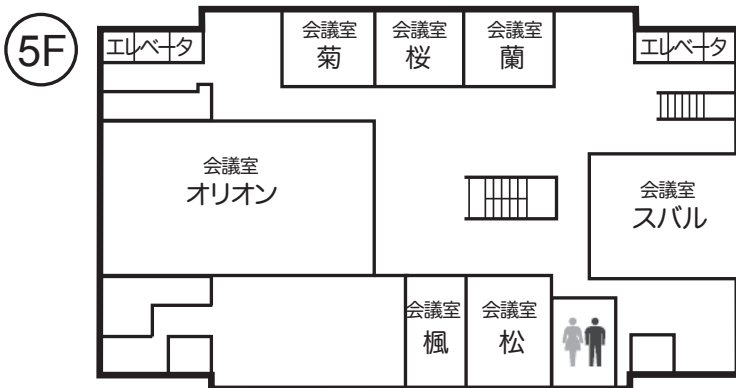
交通機関

- ・東京メトロ 有楽町線、「麹町駅」半蔵方面1番出口より徒歩4分
- ・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線、「永田町駅」9b番出口より徒歩3分
- ・東京メトロ 丸の内線・銀座線、「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- ・JR中央線、「四谷駅」麹町出口より徒歩14分

会場図

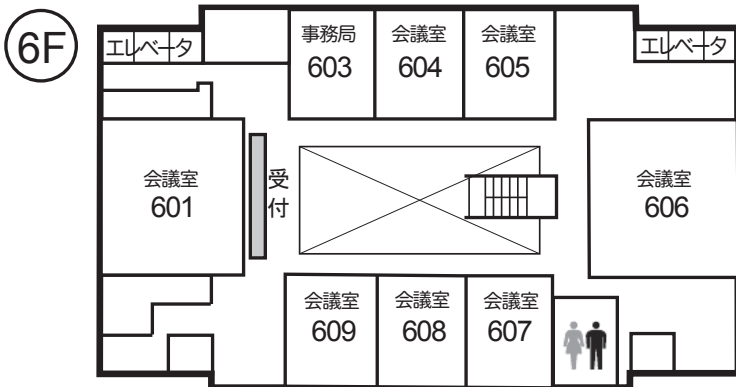


コスモスホール (1)
 開会
 基調講演
 パネルディスカッション



オリオン 視聴室

スバル 舗装部門
 土工部門
 橋梁部門
 集中討議セッション



601 舗装部門
 集中討議セッション

603 事務局

604 舗装部門

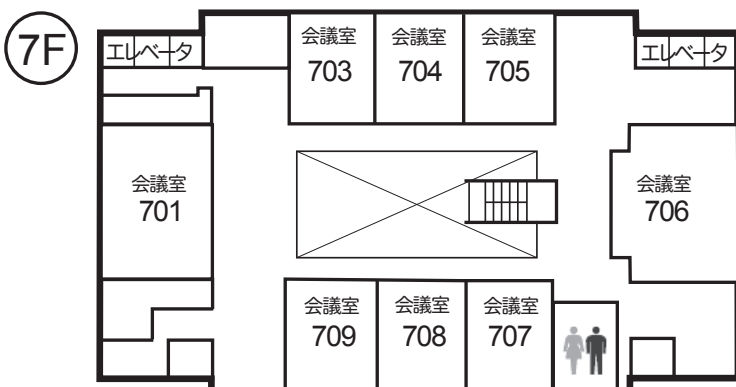
605 舗装部門

606 舗装部門

607 道路管理・修繕・更新部門
 集中討議セッション
 土工部門
 橋梁部門

608 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 橋梁部門

609 舗装部門
 橋梁部門



701 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 集中討議セッション

703 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

704 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

705 道路管理・修繕・更新部門

706 舗装部門

707 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 道路管理・修繕・更新部門
 舗装部門
 トンネル部門

708 土工部門

709 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 トンネル部門
 集中討議セッション

第34回日本道路会議 タイムテーブル

階	会場	11月4日(木)								11月5日(金)										
		午前				午後				午前				午後						
3	コスモス ①	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
		開会挨拶	高速道路ネットワークは 次なる半世紀へ ～新たな日本文明の創造に向けて～		子どもをはじめとする 地域の安全・安心に向けて		PIARC(世界道路協会)の 取組ワークショップ ～TC4.4トンネルでの取組(共催)～						次世代モビリティの実装と 地域デザイン		道路システムのDXがもたらす 社会革新				脱炭素社会の道路の利活用	
5	オリオン	視聴室								視聴室										
6	スバル				①舗装におけるDX AI、深層学習、ビッグデータ			【集中討議】 道路橋の維持管理におけるDXの取組み						①舗装におけるDX 計測技術②、舗装点検		②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 橋面舗装、防水工法②		①舗装におけるDX 計測技術③、 安全・省力化		
		601			【集中討議】 「舗装の永続リサイクル」の 方向性等について			①舗装におけるDX 計測技術①				②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 舗装の長寿命化・高耐久化②		①舗装におけるDX ICT舗装		【集中討議】 新時代の舗装技術に挑戦する		②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 コンクリート舗装②		
6	604				②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 アスファルト混合物			②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 舗装の長寿命化・高耐久化①				②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 橋面舗装、防水工法①		②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 路盤		③舗装の効率的な維持管理 調査・点検・診断④		②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 材料供給、その他材料		
		605	建設・施工技術(舗装)		③舗装の効率的な維持管理 薄層オーバーレイ			②長寿命化・国土強靱化 に資する舗装技術 コンクリート舗装①				③舗装の効率的な維持管理 調査・点検・診断②		③舗装の効率的な維持管理 調査・点検・診断③		③舗装の効率的な維持管理 補修材料・補修工法③		③舗装の効率的な維持管理 補修材料・補修工法④		
6	606				③舗装の効率的な維持管理 調査・点検・診断①			③舗装の効率的な 維持管理 補修材料・補修工法①				③舗装の効率的な 維持管理 補修材料・補修工法②		④環境に配慮した舗装技術 中温化アスファルト混合物		③舗装の効率的な維持管理 試験方法		④環境に配慮した 舗装技術 特殊舗装③		
		607				維持管理			橋梁の維持管理の 高度化・効率化の取組				【集中討議】 道路構造物の 戦略的維持管理に向けた取組		道路附属物の維持管理の 高度化・効率化の取組		点検・補修		事故・災害復旧	
6	608				鋼橋疲労			耐震				土砂化		床版①		交通安全対策 (交差点)		床版②		
		609	建設・施工技術(橋梁)				構造		腐食対策①				先端技術		腐食対策②		③舗装の効率的な維持管理 再生アスファルト混合物②		④環境に配慮した 舗装技術 リサイクル	
7	701	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
					道路事業マネジメント手法			【集中討議】 コロナ禍の交通行動と 今後の道路空間のあり方				交通安全対策 (一般道路)		安全運転の支援		情報提供と交通行動の変化		無電柱化技術・ 整備手法		
7	702				ポスターセッション(WEB発表のみ)			ポスターセッション 道路管理③土工①橋梁②				ポスターセッション 舗装⑥		ポスターセッション 舗装⑤		ポスターセッション 舗装⑤				
		703	計画・環境・安全・情報・マネジメント		自転車の利用環境整備			交通安全対策 (自動車専用道路)				3次元データ等の 利活用(1)		DX等による 建設現場の 生産性向上		3次元データ等の 利活用(2)		自動運転に 向けた研究		
7	704				道路ネットワーク形成と 利用の適正化			環境への配慮 (大気汚染、水質、騒音)				AI・ビッグデータ等を 活用した新たな交通調査		道の駅・交通結節点、 防災・観光支援(1)		環境への配慮 (緑化・道路空間)		道の駅・交通結節点、 防災・観光支援(2)		
		705	道路管理・修繕・更新		道路管理の新たな取組			冬期道路管理の新たな取組 (除雪体制の確保)				冬期道路管理の新たな取組 (状態把握)		冬期道路管理の新たな取組 (対策・状態把握)		舗装等の維持管理の 高度化・効率化の取組				
7	706				⑤異分野連携による技術開発 機械開発、給電舗装			④環境に配慮した舗装技術 路面温度上昇抑制舗装、 凍結抑制舗装				④環境に配慮した舗装技術 再生アスファルト混合物①		④環境に配慮した舗装技術 常温混合物		④環境に配慮した舗装技術 特殊舗装②		⑤異分野連携による 技術開発 センシング技術		
		707				豪雨災害や地震時マネジメント・ 対応事例			道路斜面の維持管理の 高度化・効率化の取組①				道路斜面の維持管理の 高度化・効率化の取組②		④環境に配慮した舗装技術 特殊舗装①		付属施設等		ブローブデータ等を活 用した車両運行管理	
7	708				建設・施工技術(土工)			ICT・新技術等				斜面①		斜面②		施工現場		地盤改良		
		709	建設・施工技術(トンネル)				施工		道路の多様な効果				計画・設計		【集中討議】 維持管理		変状対策・更新技術		点検診断	

※702はポスターセッションホストパソコン設置部屋 発表者はwebのみ

第34回 日本道路会議プログラム

11月4日(木)

- 〈開 会〉 10:00～10:10 (3F コスモスホール (1))
 開会挨拶 (日本道路協会会長)
 会議開催経過報告 (日本道路会議実行委員長)
- 〈パネルディスカッション〉 10:10～12:00 (3F コスモスホール (1)) …………… 9
 「高速道路ネットワークは次なる半世紀へ～新たな日本文明の創造に向けて～」
 コーディネーター : 石田 東生 (筑波大学名誉教授)
- 〈基調講演・パネルディスカッション〉 13:00～15:00 (3F コスモスホール (1)) …………… 10
 「子どもをはじめとする地域の安全・安心に向けて」
 講演者 : 赤羽 弘和 (千葉工業大学教授)
 コーディネーター : 赤羽 弘和 (千葉工業大学教授)
- 〈ワークショップ〉 16:00～18:00 (3F コスモスホール (1)) …………… 11
 「PIARC (世界道路協会) の取組ワークショップ
 ～TC4.4 トンネルでの取組 (共催)～」
 モデレーター : 砂金 伸治 (東京都立大学教授)
- 〈一般論文・事例報告発表〉 …………… 15
 *ポスターセッション 13:00～16:45 (web 開催)
 (計画・環境・安全・情報・マネジメント部門、道路管理・修繕・更新部門、
 建設・施工技術 (土工・橋梁) 部門)
 *口頭発表 (各部門) 13:00～17:15 (5F～7F の各会場)

*集中討議セッション

部 門	セッション名	時間・会場
計画・環境・安全・情報・ マネジメント	「コロナ禍の交通行動と今後の道路空間のあり方」 座長：柳沼 秀樹 東京理科大学理工学部土木工学科准教授	15:10-17:00 701
建設・施工技術 (舗装)	「舗装の永続サイクル」 座長：新田 弘之 国立研究開発法人土木研究所 材料資源研究グループ上席研究員	13:00-15:00 601
建設・施工技術 (土工)	「降雨・排水」 座長：宮武 裕昭 国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ長	15:15-17:15 708
建設・施工技術 (橋梁)	「道路橋の維持管理における DX の取り組み」 座長：石田 雅博 国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター橋梁構造研究グループ 上席研究員	15:15-17:30 スバル

11月5日(金)

〈 基調講演・パネルディスカッション 〉 10:00～12:00 (3F コスモスホール (1)) …… 12
「次世代モビリティの実装と地域デザイン」

講演者： 福田 大輔 (東京大学大学院教授)

コーディネーター： 福田 大輔 (東京大学大学院教授)

〈 基調講演・パネルディスカッション 〉 13:00～15:00 (3F コスモスホール (1)) …… 13
「道路システムのDXがもたらす社会革新」

講演者： 小澤 一雅 (東京大学教授)

コーディネーター： 関本 義秀 (東京大学教授)

〈 基調講演・パネルディスカッション 〉 16:00～18:00 (3F コスモスホール (1)) …… 14
「脱炭素社会の道路の利活用」

講演者： 久保田 尚 (埼玉大学教授)

コーディネーター： 久保田 尚 (埼玉大学教授)

〈 一般論文・事例報告発表 〉 …… 15

*ポスターセッション 9:30～14:45 (WEB配信)

(建設・施工技術(舗装)部門)

*口頭発表(各部門) 9:30～16:30 (5F～7Fの各会場)

*集中討議セッション

部門	セッション名	時間・会場
道路管理・修繕・更新	「道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組」 座長：福田 敬大 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長	9:30-11:00 607
建設・施工技術(舗装)	「新時代の舗装技術に挑戦する」 座長：前川 亮太 国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ主任研究員	13:30-15:00 601
建設・施工技術(トンネル)	「維持管理」 座長：砂金 伸治 東京都立大学 都市環境学部都市基盤環境学科教授	11:15-12:30 709

パネルディスカッション

〔高速道路ネットワークは次なる半世紀へ ～新たな日本文明の創造に向けて～〕

日時：11月4日（木）10：10～12：00 会場：3F コスモス（1）

1969年、東名高速道路が全線開通。それから半世紀、高速道路ネットワークが我が国にもたらした構想・計画当時の予測を超えるインパクトを多様な視点から振り返る。そして、次の半世紀、「グリーン」や「デジタル」等を基軸とする新たな社会システムを支えるインフラであるために、高速道路ネットワークに期待する役割や進化の方向性を議論する。

＜議論テーマ＞

- ① 高速道路ネットワークの構想・計画に込められた創設者たちの思い
- ② 高速道路ネットワークが生活、産業、国土利用等に様々なインパクトをもたらした「過去半世紀」を総括するメッセージと具体エピソード
- ③ グリーンやデジタル等を基軸とする新たな社会システムを支えるインフラであるために、「次半世紀」において、高速道路ネットワークに期待する役割と進化

＜コーディネーター＞

石田 東生 （筑波大学名誉教授）

＜パネリスト＞ ※五十音順

小野塚 征志 （株式会社ローランド・ベルガー パートナー）

川端 由美 （戦略イノベーション・スペシャリスト／ジャーナリスト）

佐滝 剛弘 （城西国際大学観光学部教授）

藻谷 浩介 （株式会社日本総合研究所 主席研究員）

柳瀬 博一 （東京工業大学教授）

渡部 裕子 （時事通信社内政部専任部長）

基調講演・パネルディスカッション

〔子どもをはじめとする地域の安全・安心に向けて〕

基 調 講 演 日時：11月4日（木）13：00～13：50 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月4日（木）13：50～15：00 会場：3F コスモスホール（1）

- ・子どもが被害を受ける悲惨な交通事故は、いまだ後を絶たない。令和3年3月に策定された第11次交通安全基本計画においても人優先の安全・安心を基本理念としている。
- ・本セッションでは、事故の教訓を踏まえつつ、政府の計画や対策等の動向、今後の生活道路における人優先の安全確保に向けた課題や地域の取組について議論する。

(1) 基調講演

「人優先の交通安全確保に向けて ～第11次交通安全基本計画や昨今の事故対策について～」

赤羽 弘和 （千葉工業大学 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

赤羽 弘和 （千葉工業大学 教授）

パネリスト

小嶋 文 （埼玉大学 准教授）

佐藤 智洋 （船橋市 道路計画課課長）

高橋 俊郎 （朝霞市 まちづくり推進課 主幹兼課長補佐）

柳田 眞由美（国土交通省 道路局環境安全・防災課 道路交通安全対策室 企画専門官）

《内容》

- 昨今の交通事故を踏まえた対策の取組状況について
- 第11次交通安全基本計画を踏まえ交通安全対策について
- 生活道路における交通安全対策に関する取組について など

パネルディスカッション

**[PIARC（世界道路協会）の取組ワークショップ]
～ TC4.4 トンネルでの取組（共催）～**

日時：11月4日（木）16：00～18：00 会場：3F コスモス（1）

※同時通訳あり

現在、PIARCにおいて、日本は多くの技術委員会（TC）等に参加し、日本の技術を世界に周知するとともに、技術の研鑽を進めている。

実際のPIARCの活動を広く知って頂くべく、PIARC TC4.4 トンネルのワークショップと共催し、同TCでの取組の中間報告や、諸外国における最新の道路トンネルに関する取組について議論する。

<コーディネーター>

砂金 伸治（東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 教授）

<講演予定者>

Ingo Kaundinya

（Chair of PIARC TC4.4 / Head of Section Tunnel, Federal Highway Research Institute (BAST)
（Germany））

日下 敦

（国立研究開発法人土木研究所 上席研究員）

Arild Sovik

（CEO, Sovik Consulting / The Norwegian Tunnelling Network (Norway)）

Bernhard Kohl

（Director, ILF Group (Austria)）

Ronald Mante

（Coordinator, Tunnel Safety Centre, Rijkswaterstaat (Netherlands)）

Tshibela Arthur Kabuya

（Premier engineer, SPRB Bruxelles Mobilité (Belgium)）

基調講演・パネルディスカッション

〔次世代モビリティの実装と地域デザイン〕

基 調 講 演 日時：11月5日（金）10：00～10：50 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月5日（金）10：50～12：00 会場：3F コスモスホール（1）

- ・自動運転の実装やカーボンニュートラルの実現に向けたモビリティ革命は、道路を進化させるとともに、社会的課題の解決、持続可能な地域づくりに重要な視点である。
- ・本セッションでは、モビリティ関連企業、エリアマネジメント団体、金融機関の新たなモビリティを活用した持続可能な地域づくりの取組みから、多様な主体の連携による社会実装の促進について議論する。

(1) 基調講演

「多様な移動を支える次世代交通拠点とネットワークの構築に向けて」

福田 大輔（東京大学大学院 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

福田 大輔（東京大学大学院 教授）

パネリスト

植村 佳代（（株）日本政策投資銀行 産業調査部 副調査役）

柳沼 秀樹（東京理科大学 准教授）

重松 眞理子（（一社）大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 スマートシティ委員長）

佐治 友基（BOLDLY（株） 代表取締役社長兼 CEO）

峯岸 宏治（東日本旅客鉄道（株） BRT 自動運転プロジェクト担当）

《内容》

○自動運転の実現

- ・道路上に磁気マーカー等を設置した専用道での自動運転サービス（BRT）
- ・地域と協力した自動運転サービス

○多様なモビリティサービス（MaaS）

- ・自動運転バスや電動キックボード等の実証実験
- ・海外における先進的モビリティサービス

○カーボンニュートラルの促進

- ・電気自動車、電動キックボード
- ・効率的な道路ネットワーク など

基調講演・パネルディスカッション

〔道路システムの DX がもたらす社会革新〕

基 調 講 演 日時：11月5日（金）13：00～13：40 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月5日（金）13：40～15：00 会場：3F コスモスホール（1）

- ・道路は安定的な物流等を支える基幹インフラであり、道路利用サービスの質を高めることにより国民生活や経済活動の生産性を高めていくことが求められている。この実現のためには、最新のデジタル技術等を適材適所に活用する道路システムの DX を推進する必要がある。
- ・本セッションでは、日常の維持管理からビッグデータの活用に至るまで、道路分野の生産性向上を実現するための技術革新の動向や、道路デジタル化の将来像等について議論する。

(1) 基調講演

「インフラ DX の実現に向けて」

小澤 一雅（東京大学 大学院 特任教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

関本 義秀（東京大学 生産技術研究所 教授）

パネリスト

藤田 聖二（東日本高速道路（株） 管理事業本部 SMH 推進チーム チームリーダー）

杉本 直也（静岡県 交通基盤部 建設政策課 班長）

田村 誠（トヨタ自動車（株） e-TOYOTA 部 データ事業推進室長）

古川 慎治（国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室 企画専門官）

《内容》

- 道路分野のデジタル化が目指すべき将来像について
 - ・ AI、点群データ、BIM/CIM、デジタルツイン
 - ・ API、ビッグデータの活用
 - ・ 道路管理、利用者サービスの将来像
 - ・ 取組事例の紹介 など

基調講演・パネルディスカッション

〔脱炭素社会の道路の利活用〕

基 調 講 演 日時：11月5日（金）16：00～16：30 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月5日（金）16：30～18：00 会場：3F コスモスホール（1）

- ・2050年のカーボンニュートラルに向けた取組は、官民間問わず喫緊の課題である。これからはカーボンニュートラルやコロナとの共生を踏まえた道路の利活用が求められている。
- ・本セッションでは、ほこみちによる人中心の道路空間の創出や自転車の利用促進、シェアリングなど脱炭素社会における道路の利活用について議論する。

(1) 基調講演

「多様なニーズに応える道路」

久保田 尚（埼玉大学理工学研究科 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

久保田 尚（埼玉大学理工学研究科 教授）

パネリスト

山名 清隆（（株）スコップ 代表取締役社長）

稲垣 具志（東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科 准教授）

三浦 詩乃（東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任助教）

代田 智之（さいたま市都市局都市計画部自転車まちづくり推進課 参事兼課長）

石山 アンジュ（（一社）シェアリングエコノミー協会 事務局長）

楠田 悦子（モビリティジャーナリスト）

《内容》

- 歩行者利便増進道路（ほこみち）の展開（道路法の改正）
- 都市デザインや都市交通の低炭素化
- ユニバーサルデザイン
- 自転車の利用促進や自転車によるまちづくり
- シェアリングエコノミー、EV シェア
- シェアサイクル、スマートモビリティ など

一般論文・事例報告発表

【口頭発表】

(1)	計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	24
(2)	道路管理・修繕・更新部門	36
(3)-1	建設・施工技術（舗装）部門	43
(3)-2	建設・施工技術（土工）部門	64
(3)-3	建設・施工技術（橋梁）部門	70
(3)-4	建設・施工技術（トンネル）部門	78

【ポスターセッション】

(1)	計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	84
(2)	道路管理・修繕・更新部門	84
(3)-1	建設・施工技術（舗装）部門	85
(3)-2	建設・施工技術（土工）部門	86
(3)-3	建設・施工技術（橋梁）部門	86

論文・事例報告募集の概要と主要課題

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

《概要》

我が国の生産性の向上、地方創生、国土強靱化等の実現に向けて、道路が社会・経済活動を支える基盤としての役割を十分に果たしていくため、進展する技術革新の活用や柔軟な発想等により、交通の円滑化、環境改善、安全性向上、仕事の進め方の改善等の取組を推進することが求められている。

計画・環境・安全・情報・マネジメント部門では、これらの取組に関連する学術研究・調査に関する論文、施策・個別対策の実施や現場の工夫等の実務に関する事例報告を幅広く募集する。

《主要課題》

- ① 〈計画〉 ICT・AI等を活用した交通調査・分析・渋滞予測、広域道路交通計画の策定、地域・箇所に適した道路幾何構造、道路の多様な効果の把握、観光地域づくり支援、地方創生の拠点としての「道の駅」の活用
- ② 〈環境〉 道路にかかる気候変動の緩和策・適応策、道路空間や地域の価値向上に資する緑化手法、無電柱化の推進方策・効果把握、多様なニーズに応える道路空間の利活用
- ③ 〈安全〉 幹線道路・生活道路における効果的・効率的な交通安全対策、道路空間の再構築、道路空間における自転車通行空間整備の工夫・評価、自転車活用推進計画等の策定
- ④ 〈情報〉 道路を賢く使いこなすための円滑・安全・環境の改善に貢献するITS技術、道路ネットワーク運用時代に必要とされるITS技術、物流・大型車マネジメント
- ⑤ 〈マネジメント〉 プロセス間連携や官民連携の強化による品質確保・生産性革命、災害対応力の強化、地域インフラの維持

《キーワード》

- ① 〈計画〉 交通調査・分析・渋滞予測、広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、(災害時も含む)道路交通マネジメント、道路幾何構造、事業評価・ストック効果、観光、道の駅
- ② 〈環境〉 地球温暖化、気候変動、温室効果ガス、CO₂、再生可能エネルギー、ライフサイクルアセスメント、道路空間利活用、ほこみち、無電柱化、環境影響評価、沿道環境、大気質、騒音、緑化、生物多様性、景観、グリーンインフラ
- ③ 〈安全〉 交通安全計画・診断・対策、交通安全施設、生活道路、歩行者、バリアフリー、ラウンドアバウト、道路空間再構築、自転車活用推進計画、自転車通行空間整備
- ④ 〈情報〉 ITS、プローブ情報、ビッグデータ、自動運転、安全運転支援、道路交通運用、地図情報、位置情報、物流・大型車マネジメント
- ⑤ 〈マネジメント〉 i-Construction、DX、BIM/CIM、生産性向上、技術提案・交渉方式、フレームワーク方式、事業促進PPP/CM、包括・性能発注、災害復旧における入札契約

【集中討議セッション】

- ★コロナ禍の交通行動と今後の道路空間のあり方

(2) 道路管理・修繕・更新部門

《概要》

平成 26 年から道路トンネルや橋では定期点検が法定化され、平成 29 年には土工構造物の定期点検も推奨されるなど、道路構造物全体として従来よりも体系的な維持管理、計画的な更新・撤去等が求められるようになった。加えて、地震や豪雪、豪雨による道路災害も相次いでいるなか、継続的かつ計画的な耐震補強や防災対策が求められている。たとえば平成 30 年には重要物流道路制度が創設され、対象路線や迂回路・代替路の道路機能のマネジメントも重要な観点となった。

このように道路管理・修繕・更新は、個々の構造物の長寿命化や防災・減災を扱うだけでなく、複数の構造物や構造物種別を統合的に扱い、道路として、または、構造物群としてのマネジメントが求められるようになってきている。また、データに基づいた検討が求められ、たとえば、複数の道路構造物に関わるデータベース、データプラットフォームに関する取り組みも期待が高いが、各管理者が管理する構造物のデータ種類や量、構造物種別間でも保存されているデータの種類や量もまちまちである。

そこで、道路管理・修繕・更新部門では、複数の道路構造物、又は、道路構造物間で調和し、効率的、効果的なマネジメントに応えるための調査研究、マネジメントの計画、実施事例について幅広く募集する。また、複数の道路構造物のデータベースを統合したデータプラットフォームのマネジメントへの活用や、DX（デジタルトランスフォーメーション）活用したデータの収集やデータベースの構築について、事例の投稿を歓迎する。

《主要課題》

注）特定の構造物の点検、健全性診断・リスク診断、修繕・補強、及び更新の事例、並びに、個々の構造物種別に特有の劣化予測技術や修繕工法等は、建設・施工技術の各部門へ応募すること。

- ① 道路構造物の戦略的維持管理
- ② 道路構造物の戦略的防災・減災対策
- ③ 道路構造物管理の新たな試み
- ④ 冬期道路管理の高度化・効率化

《キーワード》

- ① ②・対策項目や対象施設や路線の優先順位付け
 - ・長寿命化修繕計画の更新 ・アセットマネジメント ・リスクマネジメント
 - ・管理水準・指標 ・データ収集・管理・マネジメントへの活用
 - ・道路網の啓開、応急（緊急）復旧事例 ・代替路・迂回路の設定や活用 ・事前規制
- ③・道路管理者間の連携 ・道路メンテナンス会議 ・地域一括発注 ・施設の集約
 - ・人材育成・確保 ・情報の収集・発信
- ④・防雪マネジメント ・雪寒対策 ・啓開事例

【集中討議セッション】

- ★道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

《概要》

人口減少・高齢化に伴うインフラの担い手不足やDX（デジタルトランスフォーメーション）の流れの加速、地球環境問題に関する世界中の関心の高まりなど、舗装技術を取り巻く状況が大きく変化している。こうした社会背景の中、舗装分野において生産性向上に寄与する新技術の開発や異分野・他業種との連携等を通じたイノベーションの創出が求められている。加えて、深刻化するインフラの老朽化や相次ぐ自然災害への対応、地球環境の改善などに寄与する技術など、様々な社会のニーズに応じていく必要がある。建設・施工技術（舗装）部門では、このような社会的要請に応える先進的な調査研究、新技術、国内および国外の現場における問題解決・創意工夫・追跡調査事例等について幅広く募集する。

《主要課題》

舗装部門の主要課題は以下の項目とし、これらに関する産官学における「調査研究」、「新技術」、現場における「調査・設計・施工・管理等の様々な事例報告」を募集する。

1. 舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）
2. 長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術
3. 舗装の効率的な維持管理
4. 環境に配慮した舗装技術
5. 舗装と他の工学分野との連携による技術開発

《キーワード》

1. 舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）
i-Construction、ICT、AI、IoT、省力化、省人化、無人化、安全確保、生産性向上、BIM/CIM、働き方改革など
2. 長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術
材料および工法・試験法・評価法、長期性能保証工事（課題、展開、実施例）、適材適所へのコンクリート舗装実施例、コンポジット舗装、早期交通開放型コンクリート舗装、土工と舗装との一体化・橋面舗装（設計・施工・管理など）、災害に強い舗装、災害復旧に貢献する技術など
3. 舗装の効率的な維持管理
舗装点検要領に基づく取り組み、地域要件を考慮した舗装管理、調査・点検・診断（路面と構造）、メンテナンスサイクル、舗装マネジメントシステム、材料および工法・試験法・評価法、被災軽減に寄与する技術、災害復旧事例など
4. 環境に配慮した舗装技術
リサイクル（舗装発生材、他産業発生材）、中温化混合物、路面温度上昇抑制舗装、景観舗装、無電柱化等に対応した舗装技術など
5. 舗装と他の工学分野との連携による技術開発
自動運転、非接触給電施設等に対応した舗装技術、発電舗装など

【集中討議セッション】

1. 「舗装の持続リサイクル」の方向性等について
2. 新時代の舗装技術に挑戦する

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

《概要》

道路土工を取り巻く環境は急速に変化している。

ICT 土工にはじまった情報化は、DX として実務への適用が進められている。

メンテナンス意識の高まりに伴う道路土工構造物の点検制度も本格的に開始され、経験が蓄積されている。

一方で度重なる自然災害により、毎年多くの土工構造物が被害を受けており、応急復旧 / 本復旧といったハードの対応、迂回路の確保や通行規制、モニタリングといったソフトの対応に関する事例も蓄積している。2020 年には地質地盤の持つ不確実性の適切な取り扱いに関する「土木事業における地質・地盤リスクマネジメントのガイドライン」がとりまとめられ計画、調査、設計、施工、維持管理を通じた取り組みが行われている。

道路土工分野は経験工学的な要素が強く、現場における知見と経験の共有が重要である。学術的な論文に限らず、現場における技術者の取り組みは土工分野の有効性と効率性の向上のために重要である。建設・施工技術（土工）部門では、下記に挙げる主要課題に関連する現場の取り組みに関する報告等を広く募集する。

《主要課題》

- ・ 自然災害における道路土工の被害と対応
- ・ 土工構造物等の維持管理（特に点検手法、非常時の管理手法）
※各部門に共通的な技術は、道路管理・修繕・更新部門へ
- ・ 土工分野における DX に関する取り組み
- ・ 地質地盤リスクマネジメントへの取り組み

《キーワード》

- ・ 道路土工、盛土工、切土工、斜面对策工、軟弱地盤対策工、カルバート工、擁壁工、排水工、仮設構造物、自然斜面对策など構成工種
- ・ ICT 土工・DX・土工の品質確保・土質調査・土構造物の点検手法・地震対策・災害復旧
- ・ 土質材料のリサイクル技術および品質確保技術・地盤環境保全技術（要素技術）
- ・ 道路土工に関する新技術（グリーン調達、IT 関連技術）
- ・ 道路土工の省力化・コスト縮減技術
- ・ 斜面防災対策技術（IT や先進技術の活用を含む要素技術）
- ・ 土工と舗装との一体化（設計・施工・管理など）
- ・ 地質地盤リスクマネジメント

【集中討議セッション】

- ★降雨・排水

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

《概要》

既設橋梁の老朽化とともに維持管理の人材も高齢化しており、メンテナンスサイクルを効率化することが維持管理を行う上での課題となっている。そのため、既設橋に対しては、的確な点検・診断による予防保全の実現や効果的で経済性に優れた補修補強による長寿命化や機能回復の実現が求められている。また、新設橋にあたっては、建設段階においても更なる耐久性向上のための施策導入が急務となっている。

建設・施工技術（橋梁）部門では、道路橋の維持管理に関連して、効率的なメンテナンスサイクルの構築、また道路橋の建設に関連して、計画・調査から設計、施工まで耐久性や耐震性能に優れるなどの良質な橋梁の実現に資する調査研究・新技術等に関し、幅広く論文を募集する。

《主要課題》

- ① 橋梁における DX（デジタルトランスフォーメーション）
- ② 橋梁の計画・調査技術
- ③ 橋梁の設計技術
- ④ 橋梁の施工技術
- ⑤ 橋梁の維持管理技術
- ⑥ 橋梁の耐震対策技術

《キーワード》

- ① 橋梁における DX（デジタルトランスフォーメーション）
 - ・ 3D などの新しい設計技術 ・ ICT 技術を活用した施工管理
 - ・ 橋梁の計測、モニタリング技術 ・ 橋梁維持管理における AI・ICT の活用
- ② 橋梁の計画、調査
 - ・ 地盤の調査、評価技術 ・ 維持管理に配慮した計画・調査
- ③ 橋梁の設計技術
 - ・ 性能設計、部分係数設計法 ・ 橋梁の新形式、新材料
 - ・ 維持管理に配慮した橋梁設計 ・ 橋梁の耐久性向上
- ④ 橋梁の施工技術
 - ・ 維持管理に配慮した施工管理技術 ・ 橋梁の耐久性向上
- ⑤ 橋梁の維持管理技術
 - ・ 橋梁の点検・診断技術
 - ・ 橋梁の補修・補強技術 ・ 橋梁の長寿命化技術 ・ 橋梁の予防保全技術
- ⑥ 橋梁の耐震対策技術
 - ・ 橋梁の耐震性、液状化対策、軟弱地盤対策 ・ 津波に対する配慮
 - ・ 橋梁のリスクマネジメント

【集中討議セッション】

- ★道路橋の維持管理における DX の取り組み

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

《概要》

近年、社会経済状況の激しい変化に対応し、建設生産プロセスの変革による抜本的な安全性や生産性の向上や維持管理・許認可等公物管理の省人化・高度化等がとくに求められている。

建設・施工技術（トンネル）部門では、山岳・シールド・開削・沈理工法による道路トンネルおよび付属施設（換気施設、照明施設、非常用施設）の計画、調査、設計、施工、維持管理等に関して、より一層のコスト削減、工期短縮、良好な品質を確保する技術について、また、所要の機能を長期間確保する耐久性向上技術、耐震対策技術、労働安全衛生を改善する技術、周辺環境を保全する技術に加え、施工時の安全性や生産性を向上させる技術、点検・管理業務の効率化等を実現するデジタル活用技術について、論文や現場からの事例報告を幅広く募集する。

《主要課題》

- ① コスト削減技術
- ② 工期短縮技術
- ③ 品質確保技術
- ④ 維持管理技術（各部門に共通的な技術は、道路管理・修繕・更新部門へ）
- ⑤ 耐震対策技術
- ⑥ 労働安全衛生改善技術
- ⑦ 周辺環境保全技術
- ⑧ 施工時安全確保技術

《キーワード》

- ・トンネルの計画、調査、設計 ・トンネルの支保構造（支保工、覆工、セグメント等の構造）
- ・トンネルの施工（坑口対策、地すべり対策、近接施工、地盤変状対策、特殊地山対策、耐震対策、地下水保全対策、周辺環境保全対策、安全確保対策）
- ・地質・地盤リスクマネジメント
- ・トンネルの維持管理（トンネルの点検・調査・補修・補強技術）
- ・トンネルの付属施設（換気施設、照明施設、非常用施設）
- ・新技術の導入（ICT 技術、DX 等）

【集中討議セッション】

- ★維持管理

一般論文・事例報告発表

口 頭 発 表

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

道路事業マネジメント手法	25	(1001～)
自転車の利用環境整備	26	(1009～)
道路ネットワーク形成と利用の適正化	26	(1016～)
コロナ禍の交通行動と今後の道路空間のあり方 ※集中討議セッション	27	(1023～)
交通安全対策（自動車専用道路）	27	(1029～)
環境への配慮（大気汚染、水質、騒音）	28	(1035～)
道路の多様な効果	28	(1041～)
交通安全対策（一般道路）	29	(1048～)
3次元データ等の利活用（1）	29	(1054～)
AI・ビッグデータ等を活用した新たな交通調査	30	(1059～)
安全運転の支援	30	(1065～)
DX等による建設現場の生産性向上	31	(1069～)
道の駅・交通結節点、防災・観光支援（1）	31	(1073～)
交通安全対策（交差点）	32	(1078～)
情報提供と交通行動の変化	32	(1084～)
3次元データ等の利活用（2）	33	(1090～)
環境への配慮（緑化・道路空間）	33	(1095～)
無電柱化技術・整備手法	34	(1100～)
自動運転に向けた研究	34	(1105～)
道の駅・交通結節点、防災・観光支援（2）	35	(1109～)
プローブデータ等を活用した車両運行管理	35	(1114～)

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

4日 701 13:00～15:00

道路事業マネジメント手法

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1001	発注機関が定める景観に関する設計仕様等の調査	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○田宮 敬士 笠間 聡 松田 泰明
1002	都市計画道路西脇山口線(川永工区)の地元住民との合意形成について	和歌山県 同	○花坂 崇史 田口 賢司
1003	道路災害復旧事業のタイムラインに沿った入札契約方式の適用に関する調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○木地 稔 光谷 友樹 中洲 啓太
1004	性能規定型維持工事における10年間の取り組み結果と今後の展開	(株) NIPPO 国土交通省 大宮国道事務所 同	○山田 佑樹 山下 敦馬 西野 正瑛
1005	技術提案・交渉方式適用工事の事例分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○林 基樹 光谷 友樹 中洲 啓太
1006	道路関係工事におけるプロセス間リスク情報伝達の課題と改善策	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○木村 泰 光谷 友樹 中洲 啓太
1007	基礎自治体の橋梁維持修繕事業における新たな契約方式(ECI方式+包括的発注方式)の試行導入	田原本町 同 (株) オリエンタルコンサルタンツ	○藪内 慎司 森戸 和繁 太田 弘次
1008	基礎自治体における新たな契約方式(ECI方式+CM)を活用した橋梁架け替え事業	和東町 同 (株) オリエンタルコンサルタンツ	○鎌田 翔 馬場 正実 森崎 静一

4日 703 13:00～14:45

自転車の利用環境整備

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1009	しまなみ海道自転車道の安全対策の向上	本州四国連絡高速道路(株) 同	○徳 直哉 矢野 賢晃
1010	富士山一周サイクリングルートにおける新たなルート設定アプローチについて	国土交通省 静岡国道事務所 国土交通省 飯田国道事務所 国土交通省 木曾川下流事務所	○鈴木 克志 飯村 豊 稲嶋 望
1011	WAKAYAMA80を軸とした和歌山県のサイクルツーリズムの取組について	和歌山県 同	○山本 勘太 前田 潤
1012	東京都における自転車通行空間整備の取組について	東京都 同 同	○小崎 堯史 疋田 敦 和田 真治
1013	金沢自転車ネットワーク協議会の取組～自転車街頭指導マニュアルの刊行を中心に～	国土交通省 金沢河川国道事務所 同 同	○細井 遵敬 戸部 啓太郎 前田 達也
1014	ナショナルサイクルルート「ビワイチ」の自転車通行空間整備に関する取組について	滋賀県	○野村 順一
1015	栃木県におけるサイクルツーリズムの推進～“ナス1(イチ)”の紹介～	栃木県 同	○大塚 亮人 松本 浩一

4日 704 13:00～14:45

道路ネットワーク形成と利用の適正化

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1016	ミクロシミュレーションを用いた多車線高速道路における付加車線の設置検討	(株) 高速道路総合技術研究所 (株) オリエンタルコンサルタンツ (株) 高速道路総合技術研究所	○原尾 彰 大畑 長 邢 健
1017	機能階層型道路網を念頭に置いた秋田都市圏の環状道路網形成について	国土交通省 東北地方整備局 同 同	○佐藤 敦 木越 養一 岩澤 功英
1018	信号交差点における自動車の発進挙動の経年変化の分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○青山 恵里 茂田 健吾 田中 良寛
1019	信号交差点における飽和交通流率の推定手法に関する研究	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○茂田 健吾 青山 恵里 田中 良寛
1020	地方中核都市における環状道路整備の現状と課題	国土交通省 関東地方整備局 (株) 道路計画	○吉沢 仁 野中 康弘
1021	日本とドイツの環状道路交通機能に関する比較分析	日本大学大学院 日本大学 同	○友廣 大成 下川 澄雄 吉岡 慶祐
1022	左折車のギャップアクセプタンス挙動と交通容量に関する分析	日本大学大学院 日本大学 同	○石井 和成 下川 澄雄 吉岡 慶祐

4日	701	15:10～17:00	※集中討議セッション
----	-----	-------------	------------

コロナ禍の交通行動と今後の道路空間のあり方

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1023	新しい生活様式に対応した交通需要の変化に関する分析	(株)建設技術研究所 大阪大学大学院 同	○小松 秀晃 中瀬 亮太 土井 健司
1024	交通量データを用いた新型コロナウイルスによる自動車通行量の変化に関する分析	(株)アイ・トランスポート・ラボ 同	○齊藤 浅里 花房 比佐友
1025	AIカメラを活用した道路交通モニタリング～新型コロナ対策への交通データの活用～	三重県 同	○山室 明 山崎 真士
1026	人中心な道路空間の構築に向け道路占用制度を活用した取組	内閣府 沖縄総合事務局 同 同	○糸洲 速人 眞栄里 和也 伊藝 誠一郎
1027	実務ニーズからみる道路空間の利活用の現状と今後の期待に関する一考察	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○橋本 浩良 長濱 庸介 大城 温
1028	新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた諸外国の道路施策に関する事例分析	(一財)日本みち研究所 同 (株)片平新日本技研	○山岡 聡 青柳 祐輔 野村 一貴

4日	703	15:10～16:40
----	-----	-------------

交通安全対策（自動車専用道路）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1029	首都高における立入、逆走検知・警告システムについて	首都高速道路（株）	○鈴木 佑哉
1030	首都高速道路出入口部における規制標識の理解度調査と立入対策方針	首都高速道路（株） 同	○縄手 洋介 川原 純一
1031	暫定2車線区間の長大橋・トンネル部の飛出し事故防止対策導入検討	(株)高速道路総合技術研究所 同 (株)オリエンタルコンサルタンツ	○江原 豊 糸島 史浩 藤井 駿
1032	外国人レンタカーピンポイント事故対策	国土交通省 九州地方整備局 同 同	○平野 篤 佐伯 康夫 柿木 文彦
1033	ワイヤロープ式防護柵の性能向上に関する研究開発について	(国研)土木研究所 寒地土木研究所 同 鋼製防護柵協会	○平澤 匡介 畠山 乃 佐藤 義悟
1034	本線合流部における交通課題の検討及び効果検証	阪神高速技研（株） 阪神高速道路（株） 阪神高速技研（株）	○水野 翔太 兒玉 崇 西 剛広

4日 704 15:10～16:40

環境への配慮（大気汚染、水質、騒音）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1035	走行中給電システムの路面への敷設と課題	東京大学 (株) デンソー	○清水 修 角谷 勇人
1036	山間地における切土・盛土施工による利水への影響検討	国土交通省 山陰西部国道事務所	○福井 真吾
1037	システムダイナミクスを用いた新たな分析・評価・戦略策定手法	西日本高速道路(株)	○日浅 崇平
1038	道路環境影響評価の技術手法(4.騒音 4.1自動車の走行に係る騒音)の改定	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○澤田 泰征 大城 温 吉永 弘志
1039	舗装と走行経路を考慮した大規模交通流シミュレーションによる環境評価分析	(株) NIPPO カリフォルニア大学バークレー校 同	○岩間 将彦 Zhao Bingyu 曾我 健一
1040	“奥入瀬溪流は歩行者のための空間へ” クルマ抑制を促したモビリティ・マネジメント	国土交通省 青森河川国道事務所 同	○木村 慎二 小笠原 清

4日 709 15:10～16:55

道路の多様な効果

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1041	道路事業評価における防災機能評価手法の改善に関する基礎的検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 元国土交通省 国土技術政策総合研究所 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○西岡 健太 根津 佳樹 青山 恵里
1042	ビッグデータを用いた三陸沿岸道路の整備効果分析	国土交通省 同 同	○若尾 信之 岩館 慶多 高橋 康
1043	筑波山における観光渋滞対策の評価に関する研究	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○坂本 一誠 河本 直志 横地 和彦
1044	産業連関表を用いた道路投資による経済波及効果の推計	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○日比野 正臣 中洲 啓太
1045	道路事業評価における事後評価アーカイブの活用に関する一考察	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○秋元 佳澄 中洲 啓太
1046	お伊勢詣と国体を支える道路整備～伊勢市と連携した国体会場へのアクセスルートの整備～	三重県	○稲葉 昇吾
1047	豊田上郷スマートICの開通とインフラの有効活用	豊田市 同	○安藤 広明 小島 祐治

5日 701 9:30～11:00

交通安全対策（一般道路）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1048	オンデマンド型の交通安全教育教材「さすらいの交通安全戦士ナカジ」の企画・作成・運用とその効果について	徳山工業高等専門学校 ショーボンド建設（株）	○目山 直樹 中司 圭
1049	沖縄における直轄国道の交通安全に関する取り組み	内閣府 沖縄総合事務局 同	○井上 佳紀 金城 善朝
1050	道路情報板を活用した交通事故リスク情報提供とドライバーの意識に関する分析	高知工科大学 愛媛大学 (株)交通システム研究所	○西内 裕晶 吉井 稔雄 大藤 武彦
1051	AIを活用したドライブレコーダーからヒヤリハットを検出する手法の基礎検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○成田 健浩 新井 奨 小林 寛
1052	座屈推定による土中式ボラードの強度に関する検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○久保田 小百合 池原 圭一
1053	歩行者空間確保に向けた道路幅員の再構築	滝沢市 同 同	○伊藤 優 及川 竜悦 長谷川 唯倫

5日 703 9:30～10:45

3次元データ等の利活用（1）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1054	有明海沿岸道路 有明筑後川大橋施工時における CIM の活用報告	国土交通省 有明海沿岸国道事務所 同 同	○中内 利和 城戸 康介 松木 厚廣
1055	大阪湾岸道路西伸部事業における CIM の取組状況について	国土交通省 浪速国道事務所 同	○可児 滉大 村田 大輔
1056	中部横断自動車道長戸川橋における維持管理モデルの作成・試行	国土交通省 関東地方整備局 (株)オリエンタルコンサルタンツ	○加古川 尚 田口 誠司
1057	首都高速道路における CIM の課題と今後の展望	首都高速道路（株） 同 同	○細井 雄介 染谷 厚徳 小原 健司
1058	設計 - 施工間の情報連携を目的とした4次元モデル作成及び活用の考え方	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 国土交通省	○郭 栄珠 青山 憲明 築西 巨朗

5日 704 9:30～11:00

AI・ビッグデータ等を活用した新たな交通調査

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1059	機械学習を用いたKP板を含む画像の抽出による作業の効率化	西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 同 同	○岩瀬 晃啓 藤田 善太郎 久保 太護
1060	ETC2.0プローブ情報の大型車割合の増加を踏まえた全国道路・街路交通情勢調査における旅行速度算定方法の検証	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○村野 祐太郎 山下 英夫 横地 和彦
1061	AIによる画像認識技術を用いた交通量観測及び道路交通状況把握への活用に関する研究	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○難波 秀太郎 松岡 禎典 横地 和彦
1062	可搬型ビデオ画像解析によるAIを活用した交通量観測	国際航業(株) 国土交通省 首都国道事務所 国土交通省 甲府河川国道事務所	○生田 紀子 高橋 文乃 鈴木 捷紀
1063	CCTV画像解析によるAIを活用した交通量観測	国際航業(株) 国土交通省 宇都宮国道事務所 国際航業(株)	○植木 健一 白戸 角衛 生田 紀子
1064	人工知能を用いた汎用カメラによる24時間交通量調査技術の開発	(株)サーベイリサーチセンター 法政大学 琉球大学	○高野 精久 今井 龍一 神谷 大介

5日 701 11:10～12:10

安全運転の支援

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1065	ドライビングシミュレーターを用いた合流支援情報の効果検証	(株)長大 同 東京大学	○三好 孝明 松本 章宏 中野 公彦
1066	運転支援機能利用による疲労軽減効果に関する研究	富士通(株) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 国土交通省	○花守 輝明 関谷 浩孝 御器谷 昭央
1067	合流支援情報提供 DAY2システムに用いる車両検知センサの精度確認報告	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○中田 諒 花守 輝明 藤村 亮太
1068	低事故リスク経路案内による交通事故削減効果の実証評価	(株)交通システム研究所 (株)オリエンタルコンサルタンツ 愛媛大学	○大藤 武彦 伊藤 颯太 吉井 稔雄

5日 703 11:10～12:10

DX等による建設現場の生産性向上

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1069	電線共同溝 PFI 事業における DX の取り組み	(株) オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○藤岡 亮文 上久保 恵美 吉岡 多佳子
1070	建設産業の DX 化に向けた DX データセンター構築の取り組み	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○中村 英佑 池田 裕二
1071	NEXCO の高速道路舗装補修工事における、受発注者協働の生産性向上への取り組み	大成ロテック (株) (株) 高速道路総合技術研究所 同	○渡邊 清隆 加藤 亮 山口 清人
1072	倶知安余市道路における i-Construction の取り組みについて— 新技術のさらなる活用による生産性の向上を目指して—	国土交通省 札幌開発建設部 国土交通省 小樽開発建設部 国土交通省 札幌開発建設部	○後藤 治樹 久保田 良司 大工 秀樹

5日 704 11:10～12:25

道の駅・交通結節点、防災・観光支援 (1)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1073	一般道における移動時間に対する効用に基づいた休憩施設選択行動モデルの構築	東京都立大学大学院 同 同	○山下 和太郎 柳原 正実 小根山 裕之
1074	パークアンドライド結節点機能に着目した道の駅施設の利便性評価手法の提案	東京都立大学 同 同	○長井 健太 柳原 正実 小根山 裕之
1075	防災観点を含めた多目的最適施設配置に基づく「道の駅」新設・移設効果の検証	東京大学 (株) アイ・トランスポート・ラボ 長岡技術科学大学	○本間 裕大 堀口 良太 佐野 可寸志
1076	道の駅への生活機能の整備による生活利便性向上効果に関する研究	東京大学 同	○長谷川 大輔 本間 裕大
1077	道の駅及び各種避難施設の接続性を考慮した評価手法の検討	東京理科大学 元東京理科大学	○寺部 慎太郎 武田 悠汰

5日 608 13:30～15:00

交通安全対策（交差点）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1078	冬期におけるラウンドアバウトエプロン端部の可視化試験について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○吉田 智 舟橋 誠 新保 貴広
1079	主流交通が右左折する十字交差点におけるカラー誘導対策に関する効果検証	(株) オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○石塚 和哉 松戸 努 大近 翔二
1080	ランドスケープの活用によるラウンドアバウトの機能向上	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○増澤 諭香 榎本 碧 松田 泰明
1081	ラウンドアバウトにおける大型車の運転挙動と安全性評価について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○布施 浩司 畠山 乃 宗広 一徳
1082	焼津市高齢者等自転車利用の交通事故対策社会実験について	焼津市 同 (株) オリエンタルコンサルタンツ	○大石 諭 宮城 孝好 立松 秀樹
1083	左折巻き込み防止を目的とした防護型交差点(Protected Intersection)の適用性や課題について	大日本コンサルタント(株)	○小路 泰広

5日 701 13:30～15:00

情報提供と交通行動の変化

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1084	移動計画支援サービスを軸に据えた大規模道路交通イベント対策	阪神高速道路(株) 同 阪神高速技研(株)	○兒玉 崇 前原 耀太 小島 悠紀子
1085	那覇市国際通りにおける荷捌き車両対策に関する実証実験	那覇市 同 同	○小西 啓仁 石川 清志 幸地 麻利
1086	中央道集中工事におけるETC2.0プローブデータを用いた行動変容分析	中日本高速道路(株) 同 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)	○筑後 智弘 西田 匡志 青木 隆志
1087	「吹雪の視界情報」のSNSを利用した情報提供について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○大久保 幸治 西村 敦史 武知 洋太
1088	官民連携による国際観光都市「日光」の渋滞対策～リアルタイム旅行時間表示システムの活用～	栃木県 同	○石田 光 松本 浩一
1089	首都高速11号台場線(下り)本線通行止工事による交通影響に関する分析	首都高速道路(株) 同	○高橋 功 渡辺 剛史

5日 703 13:30～14:45

3次元データ等の利活用 (2)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1090	契約図書のための3次元モデル成果物作成要領の策定	国土交通省 同 同	○水野 裕介 宮本 亮介 青山 憲明
1091	機械学習による樹木抽出の試行について	西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 同 同	○増田 俊二 品川 武 極楽寺 隼也
1092	松山外環状道路インター東線における3次元情報を活用した道路事業の取り組み	国土交通省 同 (株)建設技術研究所	○守田 銀二 中屋 正浩 藤田 玲
1093	道路事業におけるBIM/CIM活用事例について	国土交通省 鳥取河川国道事務所 同	○中野 知亮 藤井 裕大
1094	新宮道路におけるBIM/CIM対応に向けた3次元地形測定の事例報告	国土交通省 近畿地方整備局 同 国際航業(株)	○今城 由貴 岩原 歩 名草 一成

5日 704 13:30～14:45

環境への配慮 (緑化・道路空間)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1095	寒冷地の街路樹を対象とした剪定強度の違いによる生育への影響評価	(国研)土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○榎本 碧 松田 泰明 岩田 圭佑
1096	地域生態系の保全に配慮したのり面緑化における植生遷移と目標設定	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○飯塚 康雄 大石 智弘
1097	BSC工法による切土軟岩法面保護について	国土交通省 名四国道事務所 同 同	○市川 勝悟 堀本 広男 飯田 明弘
1098	土木分野における木材利用に関する技術資料の発行について 一既存の木材利用工作物の耐久性に関する調査分析結果をもとに一	(国研)土木研究所 寒地土木研究所 同	○笠間 聡 松田 泰明
1099	道路空間再構築の実現に向けた計画・設計手法	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○岩本 一将 大石 智弘

5日 701 15:10～16:25

無電柱化技術・整備手法

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1100	寒冷地・郊外部における電線類地中化の低コスト化の提案	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○大部 裕次 岩田 圭佑 松田 泰明
1101	無電柱化に向けたケーブル埋設用掘削機械を用いた掘削試験	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○永長 哲也 中島 淳一
1102	電線共同溝工事の現場調査による工種別のコスト及び作業時間に関する分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○瀧本 真理 大城 温 小川 裕樹
1103	無電柱化推進に向けた低コスト手法やスピードアップへの取り組み	国土交通省	○木場 和俊
1104	電線共同溝における既存ストック活用でのコスト縮減	協和設計(株) 同	○川村 悟 夏目 卓生

5日 703 15:10～16:10

自動運転に向けた研究

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1105	磁気マーカの設置間隔に関する研究	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○藤村 亮太 中田 諒 中川 敏正
1106	道の駅「赤来高原」を拠点とした自動運転実証実験の報告	国土交通省 松江国道事務所 同 復建調査設計(株)	○大久保 優太郎 平野 幹人 平井 健二
1107	低速自動運転車両が一般車両へ与える交通影響に関する研究	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○新井 奨 小林 寛 寺口 敏生
1108	次世代モビリティサービス実証実験で見えた効果と課題について	国土交通省 関東地方整備局	○武島 正佳

5日 704 15:10～16:25

道の駅・交通結節点、防災・観光支援 (2)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1109	利用実態調査に基づく「道の駅」の駐車マス幅員に関する提案	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○岩田 圭佑 大部 裕次 松田 泰明
1110	「道の駅」における景観の考え方と向上手法の提案	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○柳田 桃子 松田 泰明 岩田 圭佑
1111	ETC2.0 データを活用した貨物車両の休憩機能に着目した道の駅の評価	長野県 長岡技術科学大学 同	○市川 晃己 佐野 可寸志 高橋 貴生
1112	国道289号「秘境八十里越体感バス」～インフラツーリズムによる交流人口拡大の取り組み～	国土交通省 長岡国道事務所 同 三条市	○宗村 浩至 長谷川 孝志 森田 誠
1113	クルーズ船寄港観光等に対応した高知県中土佐町道の駅「なかとさ」を拠点とする情報発信強化及び周遊促進に関する社会実験	国土交通省 土佐国道事務所 中土佐町	○合谷 龍馬 市川 文啓

5日 707 15:10～16:25

プローブデータ等を活用した車両運行管理

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1114	運搬排雪事業効率化に向けたETC2.0プローブデータの活用	北海道大学 国土交通省 北海道開発局	○岸 邦宏 在田 尚宏
1115	ETC2.0簡易型路側機の利用形態に関する考察	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○清水 大輔 小原 弘志 寺口 敏生
1116	中間貯蔵事業の輸送におけるETC2.0特定プローブデータ・AIカメラの活用	パシフィックコンサルタンツ(株) (一財)道路新産業開発機構 環境省	○山田 康右 半田 悟 矢野 康明
1117	中間貯蔵事業における除去土壌等の輸送マネジメントの実績について	環境省 同 同	○野玉 悠葵 寺沢 直樹 矢野 康明
1118	建設現場の生産性向上に向けたETC2.0の利活用	岐阜大学 国土交通省 岐阜国道事務所 (一財)道路新産業開発機構	○倉内 文孝 近藤 綺楓 佐々木 浩一

(2) 道路管理・修繕・更新部門

道路管理の新たな取組	37	(2001～)
豪雨災害や地震時マネジメント・対応事例	38	(2008～)
橋梁の維持管理の高度化・効率化の取組	38	(2016～)
道路斜面の維持管理の高度化・効率化の取組①	39	(2021～)
冬期道路管理の新たな取組（除雪体制の確保）	39	(2026～)
道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組 ※集中討議セッション	40	(2033～)
冬期道路管理の新たな取組（状態把握）	40	(2038～)
道路斜面の維持管理の高度化・効率化の取組②	41	(2043～)
道路附属物の維持管理の高度化・効率化の取組	41	(2048～)
冬期道路管理の新たな取組（対策・状態把握）	42	(2052～)
舗装等の維持管理の高度化・効率化の取組	42	(2056～)

(2) 道路管理・修繕・更新部門

4日 705 13:00～15:00

道路管理の新たな取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2001	GISによる道路管理の運用に関する考察	福島大学 (株) パスコ 荒川区	○長野 博一 工藤 進 加藤 智
2002	維持管理 DX の基盤となる点群データを活用した3次元道路台帳附図	国際航業(株) 同 国土交通省 北陸地方整備局	○逢坂 直樹 西村 大助 関川 諒
2003	高速道路管理に供するための3次元モデルの構築	西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 同 同	○藤田 善太郎 大丸 浩志 沖 咲良
2004	データプラットフォームとICT活用による道路維持管理システム ~i-DREAMs~	首都高速道路(株) 同 同	○丸山 大貴 竹鼻 淳志 中村 大志
2005	光変位センシングを活用した過積載車両検知に向けた検討	国土交通省 高崎河川国道事務所 (株) 長大 太陽誘電(株)	○恩田 康之 船田 尚吾 小杉 明史
2006	首都高速道路における落下物発生傾向分析	首都高速道路(株) 同	○満島 青葉 大村 陽
2007	国・県警・県の連携による路面標示の改善	三重県 同	○齋藤 敦司 山本 曜

4日 707 13:00～15:00

豪雨災害や地震時マネジメント・対応事例

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2008	令和2年7月豪雨における国道219号等の災害対応について（事例報告）	国土交通省 八代復興事務所 同	○三嶋 浩二 山北 賢二
2009	令和2年7月豪雨における国道210号災害対応について	国土交通省 大分河川国道事務所	○伊藤 康弘
2010	自動航行 UAV の道路被災状況調査の活用に向けた検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○梅原 剛 増田 仁
2011	地震動の即時分析による構造物被害推定と情報配信の取組	国土交通省 国土技術政策総合研究所	○川嶋 祥之
2012	北海道胆振東部地震により損傷したトールゲートの復旧に関する報告	東日本高速道路（株） 同 同	○藤崎 絵里 高畑 賢一 小澤 優太
2013	2011年東北地方太平洋沖地震による津波で流出した道路橋の早期復旧への取り組み	（国研）土木研究所 同 同	○中尾 尚史 廣江 亜紀子 大住 道生
2014	北海道胆振東部地震による被災斜面の UAV 撮影に基づく変化状況把握	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○坂本 尚弘 日外 勝仁 倉橋 稔幸
2015	逆 T 式擁壁における倒壊事象について	東日本高速道路（株） 同 （株）ネクスコ・エンジニアリング新潟	○山下 岳 白井 直也 笠原 祐介

4日 607 15:15～16:45

橋梁の維持管理の高度化・効率化の取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2016	福岡高速道路における維持管理性向上への取り組み～恒久足場の活用～	福岡北九州高速道路公社 同 同	○市山 仁 青野 守 上野 大輔
2017	国道2号米倉高架橋の F11T ボルト遅れ破壊に関する管理基準検討について	国土交通省 岡山国道事務所 同 同	○植 隆太郎 岡本 勝彦 大西 隆史
2018	鋼橋の疲労き裂に関する近接目視点検訓練シミュレータの開発	首都高速道路（株）	○日名 誠太
2019	一括管理 DB および直営点検支援システムの開発	（株）IHI インフラシステム 同 同	○西口 裕之 廣井 幸夫 道林 純
2020	道路橋石橋（石造アーチ橋）の定期点検に関する戦略的な維持管理の取組について	国土交通省 九州地方整備局 同	○児玉 祐一 田口 敬二

4日 707 15:15～16:45

道路斜面の維持管理の高度化・効率化の取組①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2021	点群データの取得方法の違いが斜面形状計測に及ぼす影響	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○西村 海知 西田 秀明
2022	3次元点群データを活用した道路沿い斜面の状態把握手法の検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○西田 秀明 西村 海知
2023	高密度航空LPデータを用いた道路防災危険箇所抽出精度の検証	応用地質(株) 国土交通省 近畿地方整備局 応用地質(株)	○小松 慎二 増田 寛四郎 北田 典嗣
2024	AIを用いた小規模危険渓流の抽出方法と危険性評価の検討	西日本高速道路エンジニアリング四国(株) 同 同	○橋本 燎 林 詳悟 内田 純二
2025	落石災害を対象とした道路防災点検効率化のための地形量図の活用	岡山大学大学院 同 同	○坂本 奈温子 西山 哲 崎田 晃基

4日 705 15:15～17:00

冬期道路管理の新たな取組(除雪体制の確保)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2026	視程障害時における除雪車周囲探知ガイダンスに関する検討	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○新保 貴広 舟橋 誠
2027	新型除雪グレーダ用可変幅型ブレードの開発	国土交通省 東北技術事務所 同	○川上 穰久 今野 孝親
2028	ICT活用による除雪トラック作業装置自動化の取り組み	国土交通省 北陸技術事務所 同	○武石 清一 前原 正之
2029	除雪車の遠隔操作に関する性能確認試験	東日本高速道路(株)	○高橋 亮介
2030	雪車オペレーターの効率的且つ早期のスキル習得に資する除雪車シミュレーターの開発	中日本高速道路(株)	○濱口 隆成
2031	世界道路協会(PIARC)ウェビナー「COVID-19と冬期道路サービス」の報告	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 東日本高速道路(株)	○松下 拓樹 松澤 勝 中谷 了
2032	劣化度定量的評価に信頼度を用いた除雪機械の維持管理手法について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○植野 英睦 齋藤 勉 戸川 卓治

5日	607	9:30～11:00	※集中討議セッション
----	-----	------------	------------

道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2033	健全性診断の適正化に関する一考察	八千代エンジニアリング(株) 同 同	○野田 一弘 関口 斉治 神田 通
2034	道路橋の将来推計手法の統一化に向けた検討	(株)福山コンサルタント (株)長大 大日本コンサルタント(株)	○宮村 正樹 竹田 達也 牧 祐之
2035	道路のリスクアセスメントに向けた道路性能評価手法に関する検討【橋梁編】	(株)オリエンタルコンサルタンツ 開発虎ノ門コンサルタント(株) (株)ニュージェック	○馬越 正純 中村 之信 入倉 雅人
2036	道路のリスクアセスメントに向けた道路性能評価手法に関する検討【土工編】	(株)オリエンタルコンサルタンツ (株)建設技術研究所 (株)エイト日本技術開発	○高木 博康 黒澤 保 眞野 基大
2037	横断歩道橋の改良復旧の可能性に関する試設計	国土交通省 関東道路メンテナンスセンター 国土交通省 関東地方整備局	○松藤 洋照 西村 逸男

5日	705	9:30～11:00
----	-----	------------

冬期道路管理の新たな取組(状態把握)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2038	令和2年12月関越自動車道 集中降雪事象に関する対応検討について	東日本高速道路(株) 同 同	○横見瀬 大地 富田 芳男 佐藤 崇
2039	令和3年1月・2月の短期間の集中的な大雪の対応について～SNSを使った情報発信～	国土交通省 北陸地方整備局 同	○横山 大幹 高田 英和
2040	一般国道236号天馬街道における広域道路雪崩に対応する自主的的道路規制の運用	国土交通省 北海道開発局 同 同	○山本 佳宏 村上 勇一 長屋 延和
2041	少雪地域における集中降雪の実況把握に向けた取り組み ～一般的なアメダスデータを用いた降雪量推定～	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○大宮 哲 原田 裕介 西村 敦史
2042	一回の暴風雪の厳しさを評価する指標の検討	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○原田 裕介 大宮 哲 武知 洋太

5日 707 9:30～11:00

道路斜面の維持管理の高度化・効率化の取組②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2043	LP 調査を活用した道路防災管理について	国土交通省 九州地整道路管理課 国土交通省 同	○増田 大悟 猪狩 名人 増尾 明彦
2044	LP データを用いた防災危険箇所の抽出について	国土交通省 大洲河川国道事務所 同	○横山 育海 春木 一也
2045	航空 LP データを活用した危険箇所の抽出事例	応用地質 (株) 同	○味野 晴佳 井原 拓二
2046	粒子フィルタを用いた斜面管理における RTK-GNSS データの変化点検知手法	大阪大学大学院 同 同	○吉田 伊織 小濱 健吾 貝戸 清之
2047	RTK-GNSS 地盤変位計測システムを用いた維持管理段階における法面変位の観測手法に関する検討	(株) 高速道路総合技術研究所 同	○村上 豊和 久田 裕史

5日 607 11:15～12:30

道路附属物の維持管理の高度化・効率化の取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2048	小規模附属物の事故をゼロに：新たなメンテナンスサイクル実現を目指す、ドライブレコーダー動画を活用した巡視・点検支援の取り組み	古河電気工業 (株) 同 同	○川手 隆司 橘 昭頼 近 哲也
2049	首都高速 1 号羽田線更新工事における既設接続部の路面および道路附属物のかさ上げ設計	首都高速道路 (株) 同 同	○佐久間 秋津 小島 直之 大西 達也
2050	首都高速道路横羽線における透光型遮音壁の大判化検討	首都高速道路 (株) 同	○大島 美穂 駒場 駿介
2051	MMS で取得したデータを用いた案内標識の情報を取得する技術について	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○大手 方如 山崎 廣二

5日 705 11:15～12:30

冬期道路管理の新たな取組（対策・状態把握）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2052	路肩堆雪形状計測技術の検証について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○飯田 美喜 植野 英陸 吉田 智
2053	都市内道路における堆雪の形成を考慮した交通性能曲線の構築	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○宗広 一徳 布施 浩司 畠山 乃
2054	路面画像を用いた深層学習による冬期路面すべり摩擦係数推定アプリケーションの開発	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 国土交通省 北海道開発局	○齊田 光 徳永 ロベルト 佐藤 昌哉
2055	非塩化物系凍結防止剤散布によるすべり抵抗値改善効果の検証	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○村上 健志 徳永 ロベルト 齊田 光

5日 705 13:30～15:00

舗装等の維持管理の高度化・効率化の取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2056	静岡市における戦略的陥没防止対策について	ジオ・サーチ (株) 同 静岡市	○牧野 友宣 塩澤 亜希子 前田 浩二
2057	地中レーダによる路面下空洞調査の準リアルタイム AI クラウド解析	応用地質 (株) 同 (株) Proxima Technology	○鴨下 智裕 高橋 一徳 深津 卓弥
2058	簡易路面調査技術を用いた損傷進行予測に基づく舗装維持修繕の提案	西日本高速道路エンジニアリング四国(株) 同 同	○橋爪 謙治 橋本 和明 高畑 東志明
2059	道路管理車両からの現場画像取得技術を活用した舗装管理のナレッジマネジメント	中日本高速道路 (株) NEXCO Highway Solutions of America - A Subsidiary of NEXCO Central 中日本高速道路 (株)	○大西 篤志 榊原 稔基 森 俊之
2060	路面性状と大型車通行データの融合分析による道路維持管理高度化の試みについて	(株) 富士通交通・道路データサービス 同	○佐々木 博 三浦 嘉子

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

①舗装における DX（デジタルトランスフォーメーション）[AI、深層学習、ビッグデータ] ..	44	(3001 ~)
「舗装の永続リサイクル」の方向性等について ※集中討議セッション	44	(3009 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [アスファルト混合物]	45	(3014 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [薄層オーバーレイ]	46	(3022 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断①]	47	(3030 ~)
⑤舗装と他の工学分野との連携による技術開発 [機械開発、給電舗装]	48	(3038 ~)
①舗装における DX（デジタルトランスフォーメーション）[計測技術①]	49	(3046 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [舗装の長寿命化・高耐久化①]	49	(3052 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [コンクリート舗装①]	50	(3058 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法①]	50	(3064 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [路面温度上昇抑制舗装、凍結抑制舗装]	51	(3069 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [舗装の長寿命化・高耐久化②]	51	(3075 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [橋面舗装、防水工法①]	52	(3081 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断②]	52	(3087 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法②]	53	(3093 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [再生アスファルト混合物①]	53	(3098 ~)
①舗装における DX（デジタルトランスフォーメーション）[計測技術②、舗装点検] ..	54	(3103 ~)
①舗装における DX（デジタルトランスフォーメーション）[ICT 舗装]	54	(3108 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [路盤]	55	(3113 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断③]	55	(3118 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [中温化アスファルト混合物]	56	(3123 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [常温混合物]	56	(3128 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [特殊舗装①]	57	(3133 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [橋面舗装、防水工法②]	57	(3138 ~)
新時代の舗装技術に挑戦する ※集中討議セッション	58	(——)
③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断④]	58	(3144 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法③]	59	(3150 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [試験方法]	59	(3156 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [再生アスファルト混合物②]	60	(3161 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [特殊舗装②]	60	(3166 ~)
①舗装における DX（デジタルトランスフォーメーション）[計測技術③、安全・省力化] ..	61	(3172 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [コンクリート舗装②]	61	(3176 ~)
②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [材料供給、その他材料]	61	(3180 ~)
③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法④]	62	(3184 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [特殊舗装③]	62	(3189 ~)
④環境に配慮した舗装技術 [リサイクル]	63	(3193 ~)
⑤舗装と他の工学分野との連携による技術開発 [センシング技術]	63	(3197 ~)

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門**4日 スバル 13:00～15:00****①舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）[AI、深層学習、ビッグデータ]**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3001	AIによる舗装路面点検技術について	福田道路（株）	○田口 仁
3002	AIを活用した路面のひび割れ解析等に関する検討	世紀東急工業（株） NTTコムウェア（株） 同	○磯部 雅紀 中村 隆幸 原田 俊彦
3003	AI技術を用いたアスファルト舗装のクラック検出方法の検討	大成ロテック（株） 同 同	○ダントウエット インレレスウェ 城本 政一
3004	スクリーニング方式を用いた舗装ひび割れのAI判読の取り組み	国際航業（株） 同 同	○酒井 智光 田島 朋樹 諸橋 淳一
3005	車載カメラ・AIを活用した路面性状診断システムの試行調査事例	神戸市 同 日本電気（株）	○佐野 俊幸 津田 修二 長谷川 舞子
3006	打音検査を用いたアスファルト内部欠陥検出へのAI手法の導入に関する実験報告	立命館大学大学院 立命館大学 大林道路（株）	○佐々木 優一 横山 隆明 光谷 修平
3007	高速道路の効率的な舗装管理を目指した工事発注支援システムの開発	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 同 東日本高速道路（株）	○長谷川 拓也 井澤 千春 星 一郎
3008	深層学習を用いた合材工場の品質管理業務の省力化	前田道路（株） 同 北見工業大学	○佐藤 風花 平野 麻衣子 小西 正朗

4日 601 13:00～15:00 ※集中討議セッション**「舗装の持続リサイクル」の方向性等について**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3009	再生アスファルト混合物の現状と課題	(一社)日本アスファルト合材協会	○山本 富業
3010	土木研究所における繰り返し再生に関する研究	(国研)土木研究所	○川上 篤史
3011	合材用リサイクルプラントの課題と新たな取り組み事例	日工（株）	○川村 克裕
3012	再生用ポリマー改質アスファルトの変遷と今後の展望	ニチレキ（株）	○上野 貞治
3013	アスファルト舗装用素材の持続リサイクルに向けた取り組み	日本大学	○加納 陽輔

4日 604 13:00～15:00

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [アスファルト混合物]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3014	フィラーの性状がアスファルト混合物の性能に与える影響	ニチレキ（株） 同 同	○田中 杏奈 樋口 勇輝 黄木 秀実
3015	劣化程度が異なる旧アスファルトの再生に関する一検討	大林道路（株） 同 長岡技術科学大学	○梅本 叡史 小林 靖明 高橋 修
3016	たわみ性能を付与するプラントミックス型改質材の開発	日進化成（株） 同 同	○高橋 伸武 高橋 龍矢 小柳 智子
3017	ハンバーグホイールトラッキング試験の試験条件に関する一検討	昭和瀝青工業（株） 同 同	○苦木 健吾 細野 裕貴 滝田 真世
3018	ひび割れ抵抗性に優れた特殊改質アスファルト混合物の長期供用性	大成ロテック（株） 同 同	○唐木 健次 木澤 慎一 岡島 穂高
3019	重要物流道路における高強度アスファルト混合物の検討	世紀東急工業（株） 同 同	○竹内 海歩 村井 宏美 源藤 勉
3020	舗装の層間接着状態がたわみや内部ひずみに及ぼす影響に関する試験結果	国土交通省 国土技術政策総合研究所 東京農業大学 (国研) 土木研究所	○若林 由弥 川名 太 永塚 竜也
3021	アスファルト系砂の細粒化に対する抵抗性とせん断特性	日本大学 太平洋プレコン工業（株） (株) NIPPO	○山中 光一 柳沼 宏始 山田 和弘

4日	605	13:00 ~ 15:00
----	-----	---------------

③舗装の効率的な維持管理 [薄層オーバーレイ]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3022	遮水型開粒度薄層オーバーレイ工法の開発	東亜道路工業（株） 同	○新井 崇史 塚本 真也
3023	加熱薄層舗装の長期供用性およびライフサイクル評価	静岡市 ニチレキ（株） 静岡市	○鏡味 志津枝 小池 武己 粟本 太朗
3024	小粒径アスファルト混合物の製造の効率化および適用エリアの拡大	前田道路（株） 同 京浜リサイクルセンター（株）	○高沢 浩則 村田 純 小林 翔汰
3025	経済的に優れたひび割れ対策薄層舗装の現場への適用事例	(株) NIPPO 網走市 (株) 円輪建設	○多賀 健太郎 立花 学 松永 浩幸
3026	中温化ポリマー改質アスファルトを用いた薄層アスファルト舗装の供用5年後の追跡調査結果	東亜道路工業（株） 東三建設（株） 東亜道路工業（株）	○松森 優介 前田 和義 飯塚 康二
3027	長寿命化を目的とした薄層加熱アスファルト混合物の適用事例	東亜道路工業（株） 同	○池田 良樹 瀬戸 紗耶香
3028	薄層オーバーレイ工法の供用性と適用範囲の確認	前田道路（株） 同 同	○小田 猛 野本 真兵 真壁 匡史
3029	薄層オーバーレイによる維持工法の施工事例について	世紀東急工業（株） 同 同	○木内 浩暉 村井 宏美 稲波 秀和

4日 606 13:00～15:00

③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3030	移動式たわみ測定装置（MWD）の実用化に関する検討	元(国研)土木研究所(現(一財)土木研究センター) (国研) 土木研究所 同	○寺田 剛 綾部 孝之 藪 雅行
3031	ドップラ振動計を用いた移動式たわみ測定装置（MWD）のたわみ量解析手法について	(国研) 土木研究所 同 同	○綾部 孝之 寺田 剛 藪 雅行
3032	レーザ変位計を用いた移動式たわみ測定装置（MWD）のたわみ量解析手法について	(株) ガイアート 同 (国研) 土木研究所	○山本 啓 齊藤 一之 綾部 孝之
3033	坂道等が移動式たわみ測定装置（MWD）の測定結果に与える影響	アールテックコンサルタント（株） (国研) 土木研究所 前田道路（株）	○阿部 貴幸 綾部 孝之 河田 久儀
3034	移動式たわみ測定装置（MWD）を用いたネットワークレベルでの測定事例	ニチレキ（株） (国研) 土木研究所 同	○那珂 通大 永塚 竜也 綾部 孝之
3035	コンクリート舗装の凍上ひび割れ判定に関する一考察	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○井谷 雅司 上野 千草 丸山 記美雄
3036	コンクリート舗装における MMS を用いた凍上量の測定について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○上野 千草 井谷 雅司 丸山 記美雄
3037	コンクリート舗装における版の温度がひび割れ部の FWD たわみ量に及ぼす影響	(国研) 土木研究所 同 同	○枝廣 直樹 綾部 孝之 前川 亮太

4日 706 13:00～15:00

⑤舗装と他の工学分野との連携による技術開発 [機械開発、給電舗装]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3038	カーボンニュートラルの実現に向けた太陽光発電舗装の実証試験	(株) NIPPO トヨタ自動車 (株) (株) NIPPO	○平田 茉安里 鈴木 一省 太田 勝也
3039	再生可能エネルギーを創出する太陽光発電舗装の実用化検討	(株) NIPPO MIRAI-LABO (株) (株) ミラクル	○吉中 保 平塚 利男 佐藤 重宣
3040	バランスアームを用いたコンクリート二次製品の敷設機械	鹿島道路 (株) 同 同	○中渡瀬 圭吾 伊藤 圭祐 岩田 真幸
3041	モータグレーダのブレーキアシストシステム	鹿島道路 (株) 同 同	○野田 哲也 鈴木 泰 伊藤 圭祐
3042	走行中ワイヤレス給電のコイル埋設についてのフィジビリティスタディ	東京理科大学 同	○埴 昂樹 居村 岳広
3043	電界方式無線給電道路の実用化システム その1 電界方式の無線給電道路への適用	豊橋技術科学大学 大成建設 (株) 大成ロテック (株)	○水谷 豊 遠藤 哲夫 城本 政一
3044	電界方式無線給電道路の実用化システム その2 電界結合方式による無線給電道路システム	大成建設 (株) 豊橋技術科学大学 大成ロテック (株)	○遠藤 哲夫 水谷 豊 城本 政一
3045	電界方式無線給電道路の実用システム その3 電界結合方式による無線給電道路の舗装材料と構造	大成ロテック (株) 大成建設 (株) 豊橋技術科学大学	○城本 政一 新藤 竹文 水谷 豊

4日 601 15:15～16:45

①舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）[計測技術①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3046	「転輪型 RI 密度水分計」を用いた面的な路盤の締固め度測定技術に関する検討	大成ロテック（株）	○佐々木 恵
3047	サーモカメラによるアスファルト混合物の温度管理について	東亜道路工業（株） 同 同	○梅田 隼 高木 隆行 松村 高志
3048	ランナーの走行を考慮した3次元データを用いた舗装のテクスチャ指標に関する検討	日本道路（株） 山口大学 日本道路（株）	○池田 茜 中島 伸一郎 遠藤 桂
3049	電線共同溝工事における3D地下探査技術の活用	国土交通省 福山河川国道事務所 同 同	○中野 友貴 藤田 新治 近藤 裕太
3050	路面形状測定器を用いた施工中のコンクリート舗装の平坦性向上について	世紀東急工業（株） 同 同	○ミ ミサン 磯部 雅紀 吉野 敏弘
3051	路面性状計測システム（LCMS）によるひび割れ深さ推定手法の検討について	東日本高速道路（株） （株）ネクスコ・エンジニアリング東北	○辻野 英幸 鈴木 敏文

4日 604 15:15～16:45

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [舗装の長寿命化・高耐久化①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3052	As 混合物の耐久性向上を目的とした水平振動ローラによる施工の検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 北海道科学大学	○田中 俊輔 丸山 記美雄 亀山 修一
3053	交差点部における高耐久アスファルト混合物の施工事例	三井住建道路（株） 同 同	○深町 淳 多々良 哲弘 川本 義博
3054	広島高速1号線における舗装長寿命化の設計・施工事例報告	ニチレキ（株） 同	○野村 直哉 井上 智章
3055	高耐久化した再生アスファルト混合物の適用性に関する検討	鹿島道路（株） 同 同	○佐藤 文洋 林 信也 岩永 真和
3056	高耐久性アスファルト混合物のバス停留所への施工事例	大有建設（株） 同 同	○村上 友規 奥村 高司 長崎 洋
3057	高耐久性混合物の施工性向上に関する検討	鹿島道路（株） 同 同	○樋渡 竜太 岩永 真和 林 信也

4日 605 15:15～16:45

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [コンクリート舗装①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3058	RLMC を用いたコンクリート版の維持修繕技術の合理化	日本道路（株） 同 太平洋セメント（株）	○藤井 洋志 弓木 宏之 岸良 竜
3059	コンクリート打設現場での簡易なコンステーション測定方法の検討	世紀東急工業（株） 同	○金澤 浩司 吉野 敏弘
3060	硬化後連続鉄筋コンクリート舗装のすべり止め対策工に関する検討	鹿島道路（株） 阪神高速道路（株） 鹿島道路（株）	○大迫 太加志 星住 哲也 中村 稔生
3061	コンクリートを用いた橋面舗装の供用性調査報告	（一社）セメント協会 太平洋セメント（株） 大山崎町	○瀧波 勇人 岸良 竜 藤原 泰嗣
3062	近年施工されたコンクリート舗装の供用実態調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○桑原 正明 渡邊 一弘 若林 由弥
3063	国道18号妙高大橋架替事業における連続鉄筋コンクリート舗装の施工事例	国土交通省 高田河川国道事務所 同 同	○中川 泰成 高村 直樹 大平 英生

4日 606 15:15～16:30

③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3064	グースアスファルト舗装の補修材料に関する一検討	世紀東急工業（株） 同	○村井 宏美 源藤 勉
3065	新潟市におけるFC防草工法の取組み事例	ニチレキ（株） ヒートロック工業（株）	○高内 麻美 三浦 隆雄
3066	散水後に短時間で防草効果を発揮する急硬性固化材	大成ロテック（株） 同 同	○中尾 信之 チャンタンニャット 青木 政樹
3067	充填性を高めたグラウト材による注入工法に関する検討	大有建設（株） 同	○可知 和毅 安藤 友宏
3068	路面下空洞上の舗装の陥没抑制となる路面補強工法の検討	（株）NIPPO 東京大学 ジオ・サーチ（株）	○井原 務 桑野 玲子 大野 敦弘

4日 706 15:15～16:45

④環境に配慮した舗装技術 [路面温度上昇抑制舗装、凍結抑制舗装]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3069	揚水機能を付与したポーラスコンクリートについて	(株) 佐藤渡辺 同 帝人 (株)	○野口 純也 長嶺 秀登 岡田 伸吾
3070	遮熱性舗装における遮熱材はがれ率の経年変化について	(株) オリエンタルコンサルタンツ 国土交通省 関東技術事務所 (株) オリエンタルコンサルタンツ	○木村 祥平 河村 功 田中 志和
3071	遮熱性舗装における眩しさ対策	日本ペイント・インダストリアルコーティングス (株) 同 ミラクール (株)	○白井 浩史 伊達 正博 百瀬 裕文
3072	遮熱性舗装の路面温度低減効果及び耐久性に関する調査結果	(株) オリエンタルコンサルタンツ 同 国土交通省 関東技術事務所	○野口 英司 植田 知孝 河村 功
3073	非塩化物系凍結抑制材料を用いた複合型凍結抑制舗装の開発と検証	鹿島道路 (株) 同 北海道	○尾崎 風香 五伝木 一 坂下 晃一
3074	塩分吸収型舗装の凍結防止剤残留効果	大有建設 (株) 名古屋高速道路公社 大有建設 (株)	○杉浦 晴世 水谷 明嗣 長崎 洋

5日 601 9:30～11:00

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [舗装の長寿命化・高耐久化②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3075	SMA(5)の長期供用性について	(株) 佐藤渡辺 同	○坂本 寿信 濱田 開示
3076	耐流動性および耐油性・耐水性に優れた高耐久アスファルト混合物の開発	大成ロテック (株) 同 同	○中塚 将志 中尾 信之 チャン タンニャット
3077	舗装の長寿命化に資する HWT による耐水性評価の提案	日本道路 (株) 同 同	○遠藤 桂 朴 希真 児玉 健
3078	エコセメントを用いた高強度半たわみ性混合物の開発	太平洋セメント (株) 同 同	○小島 克仁 岸良 竜 河野 克哉
3079	半たわみ性舗装に用いる改質アスファルトの効果の一検討	東亜道路工業 (株) 同 同	○望月 大輝 多田 悟士 坂井 剛士
3080	高強度半たわみ性舗装の厚層施工への適用検討	日本道路 (株) 同 同	○松本 祥平 弓木 宏之 児玉 健

5日 604 9:30～11:00

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [橋面舗装、防水工法①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3081	改質アスファルト塗膜系防水材料の接着性に及ぼす要因の検討	ニチレキ（株） 同 首都高速道路（株）	○齋藤 賢人 丸島 孝和 山本 一貴
3082	塩害対策床版複合防水工法の施工事例	東亜道路工業（株） 日建工業（株） 東亜道路工業（株）	○佐川 聡 芳賀 茂久 吉田 真幸
3083	橋面コンクリート舗装への浸透防水型薄層表面処理材の適用事例	東亜道路工業（株） （株）YOKOTA 奥出雲町	○園田 涼 種村 正人 足立 剛
3084	橋面舗装端部および施工打継目における防水評価手法の検討	（国研）土木研究所 同 同	○室井 和也 川上 篤史 藪 雅行
3085	樹脂系景観舗装に適した反応樹脂型塗膜系防水材料の開発	日進化成（株） 同 同	○下山 莉奈 櫻井 博章 仲野 尚弘
3086	コンクリート床版に適用可能な改質グースアスファルト混合物を用いた防水層の開発	大成ロテック（株） 同 同	○岡島 穂高 湯川 誠二郎 青木 政樹

5日 605 9:30～11:00

③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3087	12年間屋外暴露した供試体の劣化評価と一考察	東亜道路工業（株） 同 同	○石松 莞爾 園田 涼 永原 篤
3088	アスファルト舗装の材料劣化と構造劣化の相互作用に関する基礎検討	日本大学 同 （国研）土木研究所	○陳 安寧 加納 陽輔 新田 弘之
3089	アスファルト舗装の内部損傷が舗装内の熱伝達特性に与える影響について	立命館大学 大林道路（株） 立命館大学	○松崎 友哉 光谷 修平 横山 隆明
3090	アスファルト舗装の構造劣化に関する現地調査結果の報告	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○坂口 浩昭 森 飛翔 植田 知孝
3091	三次元点群データのDual-tree複素数ウェーブレット変換による変状の指向性を考慮した路面解析について	北見工業大学 大林道路（株） 同	○富山 和也 山口 雄希 森石 一志
3092	初期ひび割れ率ごとに整理した損傷進行速度と表面処理工法の効果	（国研）土木研究所 同 （一社）日本アスファルト乳剤協会	○佐々木 巖 新田 弘之 永原 篤

5日 606 9:30～10:45

③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3093	道路橋 RC 床版の断面補修に用いる低弾性ポリマー改質超速硬モルタルの開発	(株) NIPPO ショーボンド建設 (株) 同	○白井 悠 宮口 克一 郭 度連
3094	カルシウムアルミネート系緊急補修材のコンクリート舗装局所損傷への適用性検討	鹿島道路 (株) 同 同	○好見 一馬 横田 慎也 五傳木 一
3095	コンポジット舗装上におけるリフレクションクラック対策の実施事例	(株) NIPPO 国土交通省 横浜国道事務所 (株) NIPPO	○須藤 勇樹 町田 浩章 麻和 大輝
3096	既設ポーラスコンクリート舗装の補修事例：隅角部の局部打換え	(一社) セメント協会 日本道路 (株) (一社) セメント協会	○野田 悦郎 弓木 宏之 瀧波 勇人
3097	道路管理者の舗装の補修・修繕対応時期に関する一考察	国土交通省 国際航業 (株) 国土交通省	○香田 晃宏 鈴木 達朗 小澤 知幸

5日 706 9:30～10:45

④環境に配慮した舗装技術 [再生アスファルト混合物①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3098	FTIR によるアスファルトの劣化指標の算出方法に関する一検討	(国研) 土木研究所 同 同	○掛札 さくら 川上 篤史 藪 雅行
3099	DWT を用いた再生混合物の耐水性評価	出光興産 (株) 同 同	○佐野 昌洋 安藤 秀行 呉 悦樵
3100	現場での実施を想定したアスファルト中の改質材検出方法の検討	(国研) 土木研究所 同 同	○野本 真兵 川島 陽子 新田 弘之
3101	再生骨材表面における残存旧アスの定量への試み	出光興産 (株) 同 同	○呉 悦樵 佐野 昌洋 瀬尾 彰
3102	再生アスファルト混合物評価方法としてのカンタブロ損失率と圧裂強度比の関係	(国研) 土木研究所 同 同	○川上 篤史 掛札 さくら 藪 雅行

5日 スバル 11:15～12:30

①舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）[計測技術②、舗装点検]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3103	建設機械搭載型レーザースカナによる遠隔臨場リアルタイム出来形管理システム	前田道路（株） 法政大学 三菱電機エンジニアリング（株）	○加藤 康弘 今井 龍一 平 謙二
3104	出来形計測における地上移動体搭載型レーザースカナーの有効性の検証	大成ロテック（株） 同 同	○武藤 一伸 池田 直輝 内藤 亮太
3105	舗装路面計測を対象とした地上型レーザースカナーの効率的な運用について	大林道路（株） 同 北見工業大学	○山口 雄希 森石 一志 富山 和也
3106	車両内設置スマートフォンを用いた準リアルタイム路面評価手法	（株）スマートシティ技術研究所 同 東京大学	○趙 博宇 薛 凱 長山 智則
3107	スマートフォンによる舗装点検のDX	ニチレキ（株） （株）スマートシティ技術研究所 東京大学	○裕 真悠 薛 凱 長山 智則

5日 601 11:15～12:30

①舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）[ICT舗装]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3108	ICTを活用した舗装修繕について	国土交通省 徳島河川国道事務所 同 同	○渡部 貴仁 山本 健司 石原 伸彦
3109	OCR技術で取得した施工履歴データを用いた出来形管理～ICT舗装工（修繕工）の事例報告～	（株）NIPPO 同 国土交通省 三次河川国道事務所	○其田 直樹 金子 圭 印居 英文
3110	松江国道事務所管内におけるICT舗装工（修繕工）の取り組みと今後の発展に向けての課題について	国土交通省 松江国道事務所 同 同	○田中 佑奈 岩元 浩史 藤田 修
3111	舗装修繕での長期保証試行工事におけるICT・Iotを活用した出来形、品質管理	（株）NIPPO 同 同	○小沼 幸訓 柳澤 淳史 阿部 秀晃
3112	（仮称）新三国トンネルにおけるICTを活用したスリップフォームペーパによるコンクリート舗装の施工事例	鹿島道路（株） 同 国土交通省 高崎河川国道事務所	○冨澤 健 結城 昌弘 伊藤 光宏

5日 604 11:15～12:30

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [路盤]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3113	異なる締固め試験法による粒状路盤材の締固めの差異に関する考察	宇都宮大学大学院 宇都宮大学 ニチレキ（株）	○坂本 凌 海野 寿康 馬場 弘毅
3114	セメント系固化材による安定処理土の強度特性	太平洋セメント（株） 住友大阪セメント（株） （一社）セメント協会	○野崎 隆人 吉田 雅彦 泉尾 英文
3115	ポンピング現象メカニズム解明のための小型実験模型の開発	山口大学 同	○重廣 和輝 中島 伸一郎
3116	凍上が発生した路線に適用した路上再生路盤の支持力の経年変化	ニチレキ（株） 北海道科学大学 北海道	○内海 正徳 川端 伸一郎 足立 浩
3117	路盤締固め時の含水比が雨水浸透後の CBR 特性に及ぼす影響	福岡大学大学院 福岡大学 同	○岡崎 紅 佐藤 研一 藤川 拓朗

5日 605 11:15～12:30

③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断③]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3118	3D 測定車による路面の面粗さをを用いた舗装の骨材飛散評価の合理化	日本道路（株） 同 同	○吉野 広一郎 藤井 洋志 遠藤 桂
3119	ICT を活用した道路維持管理について（花巻市における SOCOCA の活用）	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 （株）リサーチアンドソリューション	○山岸 弘明 植田 知孝 小川 達也
3120	三次元計測機器を活用した路面プロファイル計測について	北見工業大学 同 大林道路（株）	○幸谷 宥毅 富山 和也 山口 雄希
3121	車載式電磁波レーダによる舗装内部のひび割れ検出について	西日本高速道路エンジニアリング中国（株） ジオ・サーチ（株）	○高砂 圭司 荒川 大治郎
3122	路面性状自動測定装置と水準測量による IRI の比較	（一財）土木研究センター 同	○倉持 智明 寺田 剛

5日 606 11:15～12:30

④環境に配慮した舗装技術 [中温化アスファルト混合物]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3123	表基層混合物を対象とした機械式フォームド中温化混合物の試験施工による技術検証	東京都 同 (一社) 日本アスファルト合材協会	○橋本 喜正 安藤 哲明 江向 俊文
3124	スタティックミキサを用いた泡の微細化技術によるフォームド As の効果検証	世紀東急工業 (株) 同	○鈴木 祥高 廣田 哲人
3125	発泡補助剤を併用したフォームドアスファルト技術の再生混合物への適用事例	(株) NIPPO 同 同	○菅原 紀明 末原 俊史 横溝 克美
3126	フォームドアスファルト技術の自然石脱色バインダ舗装への適用	前田道路 (株) 同 同	○黒田 康照 照井 明幸 池田 孝司
3127	施工性改善型改質バインダの締固め効果の検討	(株) ガイアート 同 同	○野本 陽 佐澤 昌樹 茂呂 晴香

5日 706 11:15～12:30

④環境に配慮した舗装技術 [常温混合物]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3128	都道における小規模舗装への常温混合物の適用事例	ニチレキ (株) (公財) 東京都道路整備保全公社 MR2 工法協会	○田村 祐二 峰岸 順一 片田 一郎
3129	ひび割れ抵抗性を高めた水分硬化型高耐久常温アスファルト補修材の開発	前田道路 (株) 同 同	○牛込 直樹 齋藤 啓大 畠山 慶吾
3130	再生常温アスファルト混合物の防草機能付加および機能維持のための一検討	(株) 関電工 世紀東急工業 (株) (株) 東京ロードテクノ	○茅ノ間 恵美 源藤 勉 平山 昌男
3131	常温アスファルト混合物の高付加価値化に関する検討	世紀東急工業 (株) 同	○廣田 哲人 源藤 勉
3132	積雪寒冷地の路面破損状況に着目した全天候型常温合材の開発	北川ヒューテック (株) 同 同	○本間 圭一 坂本 吉広 北村 智之

5日 707 11:15～12:30

④環境に配慮した舗装技術 [特殊舗装①]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3133	低燃費舗装の積雪寒冷地における耐久性に関する検討	(株) NIPPO 国土交通省 (国研) 土木研究所	○野村 悠介 林 正樹 川上 篤史
3134	未利用熱エネルギーの普及拡大につながる高熱伝導舗装の研究	東邦産業 (株) 新潟太平洋生コン (株) 福田道路 (株)	○美寺 寿人 浅野 宏 畑山 良二
3135	ウレタン樹脂を用いた歩行者系薄層弾性舗装の開発	日本道路 (株) 同 同	○川畑 敦馬 美馬 孝之 永倉 宏
3136	環境に配慮した歩道舗装の供用箇所における経年性能	大林道路 (株) 都市リサイクル工学研究所	○石川 義人 山田 優
3137	都市型プラントへの蓄熱式脱臭炉の導入事例	前田道路 (株) 同 同	○上原 研二 町田 隆 山下 晋仁

5日 スバル 13:30～15:00

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [橋面舗装、防水工法②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3138	コンクリート床版橋面舗装における高浸透型防水材料および改質グースの適用検討	(株) NIPPO (国研) 土木研究所	○菊池 玲児 川上 篤史
3139	明石海峡大橋に発生した舗装ひび割れの要因推定	ニチレキ (株) 同 本州四国連絡高速道路 (株)	○樋口 勇輝 竹中 真也 二宮 仁司
3140	阿武隈大橋における鋼床版補強用アスファルト混合物の施工事例	東亜道路工業 (株) 東日本高速道路 (株) 同	○麻上 淳平 大林 正和 久保 寛仁
3141	国道11号吉野川大橋の橋梁補修と橋面舗装修繕の一体化施工について	国土交通省 徳島河川国道事務所 同 同	○刈谷 亜未 山本 健司 石原 伸彦
3142	都市高速道路における高耐久グースアスファルトの適用事例	(株) NIPPO 同	○中川 智世 佐藤 祐輔
3143	重交通橋面舗装の流動対策に用いた特殊改質アスファルト混合物の適用事例	ニチレキ (株) 同	○岡本 拓也 田口 克也

5日	601	13:30～15:00	※集中討議セッション
----	-----	-------------	------------

新時代の舗装技術に挑戦する

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
		国土交通省 国土技術政策総合研究所	若林 由弥
		日本大学	前島 拓
		東亜道路工業（株）	曲 慧
		東近江市	鳥井 寛明
		ニチレキ（株）	羽入 昭吉

5日	604	13:30～15:00
----	-----	-------------

③舗装の効率的な維持管理 [調査・点検・診断④]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3144	PC 舗装版の非破壊調査事例について	(一財) 阪神高速先進技術研究所 阪神高速道路（株） 同	○齋藤 佑太 岡本 信也 岡山 真人
3145	コネクティッドカーを活用した舗装損傷の把握の一考察	(株) オリエンタルコンサルタンツ トヨタ自動車（株） 静岡市	○植田 知孝 高武 康介 前田 浩二
3146	縦施工目地の縁切れに起因した厚層施工区間の路面変状	西日本高速道路エンジニアリング関西(株) 西日本高速道路（株） 西日本高速道路エンジニアリング関西(株)	○古川 晶大 中村 和博 本松 資朗
3147	赤外線熱画像を活用したポットホールの前検知に関する精度検証	(株) ネクスコ東日本エンジニアリング 東日本高速道路（株） (株) ネクスコ東日本エンジニアリング	○西園 惇 神馬 光建 大庭 健太郎
3148	舗装ガイドライン見直しに向けた検証	静岡県 同 ニチレキ（株）	○平井 良房 石神 和晃 大野 香澄
3149	融雪期における舗装のポットホール発生状況に関する検討	(株) NIPPO 北海道科学大学 国土交通省 北海道開発局	○中村 博康 亀山 修一 多田 和広

5日 605 13:30～15:00

③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法③]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3150	夜間や低温時でも施工可能な浸透型補修工法の開発	浸透型補修工法研究会 西日本高速道路（株） 西日本高速道路エンジニアリング関西（株）	○宮井 友子 中村 和博 本松 資朗
3151	加熱処理によるひび割れ補修工法の供用性について	福田道路（株） 同 同	○畑山 良二 北添 慎吾 吉井 哲男
3152	表面処理工法を用いた中部国際空港滑走路の舗装長寿命化の取組み	ニチレキ（株） 中部国際空港施設サービス（株） 日本工営（株）	○田中 伸介 横江 哲 浜 昌志
3153	空港内貨物地区における加熱アスファルト系表面処理工法の適用事例	日本道路（株） 同 関西エアポート（株）	○常松 直志 美馬 孝之 涌本 真由
3154	首都高速道路における段差修正材の品質規格に関する検討	首都高速道路（株） 同	○山本 一貴 染谷 厚徳
3155	特殊タックコート（ハイブローン工法）の分解剤による施工効率化	昭和瀝青工業（株） 西日本高速道路（株） オリエンタル白石（株）	○高島 伸知 木原 通太郎 池田 達彦

5日 606 13:30～14:45

③舗装の効率的な維持管理 [試験方法]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3156	アスファルト乳剤の簡易粘性評価方法に関する一検討	(一社) 日本アスファルト乳剤協会	○永原 篤
3157	局所振動試験によるアスファルト舗装の損傷度評価に関する実験的検討	日本大学大学院 東北大学大学院 (株) NIPPO	○斎藤 優佑 内藤 英樹 白井 悠
3158	再生アスファルト混合物の新たな評価方法に関する研究	(株) NIPPO (国研) 土木研究所 北海道科学大学	○末原 俊史 川上 篤史 亀山 修一
3159	逆解析における弾性係数の初期値に関する検討	(国研) 土木研究所 同 同	○永塚 竜也 前川 亮太 藪 雅行
3160	繰返し精度向上を目的としたアスファルト混合物の作業性評価に関する検討	大林道路（株） 同	○新堀 詩織 上地 俊孝

5日 609 13:30～14:45

④環境に配慮した舗装技術 [再生アスファルト混合物②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3161	再生加熱アスファルト混合物の品質向上を目指した検討	鹿島道路（株） 同 同	○徳松 大雅 鈴木 泰 大平 淳一
3162	再生中温化アスファルト混合物の性状に対する締固め度や劣化の影響	（国研）土木研究所 同	○川島 陽子 新田 弘之
3163	再生用添加剤の浸透時間が混合物性状に及ぼす影響	大林道路（株） 同 長岡技術科学大学	○滝井 陵太 小林 靖明 高橋 修
3164	再生用添加剤の添加方法の違いによる再生混合物の疲労抵抗性の向上効果	（株）NIPPO （国研）土木研究所 北海道科学大学	○安藤 政浩 川島 陽子 亀山 修一
3165	繰返し再生性能に優れる再生アスファルト混合物用バインダの開発	昭和瀝青工業（株） 同	○森 俊八 平松 真

5日 706 13:30～15:00

④環境に配慮した舗装技術 [特殊舗装②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3166	長寿命とカスケード利用を実現する木質チップ舗装の検討	（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 奈良県 ニチレキ（株）	○吉田 貴紘 増田 勝則 坂上 典幸
3167	SDGsに向けたアスファルト舗装の開発および適用性の検討	日本道路（株） 同 花王（株）	○朴 希眞 川村 修 猪股 賢大
3168	アスファルトプラントから排出する二酸化炭素の固定化に関する基礎的実験	前田道路（株） 同	○山下 晋仁 高橋 知
3169	市街地における振動抑制舗装の適用事例	前田道路（株） 同 同	○若狭 雄二郎 瀧上 俊輔 稲田 寛之
3170	小粒径縦溝低騒音舗装の開発	（株）ガイアート 同 同	○齊藤 一之 山本 啓 館野 巴架
3171	クラフトリグニンの改質アスファルト混合物への適用事例	大成ロテック（株） 日本製紙（株） 大成ロテック（株）	○青木 政樹 辻 志穂 岡島 穂高

5日 スバル 15:15～16:15

①舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）[計測技術③、安全・省力化]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3172	自走式ロボットを活用した安全性向上効果の検証	(株) NIPPO 同 同	○立花 洋平 石川 和彦 大庭 光平
3173	3次元点群データを用いた路面性状調査手法の実証	首都高技術(株) 同 朝日航洋(株)	○渡邊 賢太郎 川村 日成 山下 淳子
3174	MMSの精度向上への取り組みと生産性向上に向けた提言	福田道路(株) アジア航測(株)	○北添 慎吾 菊池 拓
3175	コンクリート舗装におけるMMSによる出来形計測の有効性の検証	大成ロテック(株) 同 同	○池田 直輝 武藤 一伸 内藤 亮太

5日 601 15:15～16:15

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [コンクリート舗装②]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3176	3次元FEMに基づくコンクリート舗装横断目地の耐久性向上の検討	(株)ネクスコ東エンジニアリング (株)高速道路総合技術研究所 石川工業高等専門学校	○大庭 健太郎 洲崎 尚樹 西澤 辰男
3177	コンクリート舗装版ブローアップの原因と対策検討	東日本高速道路(株)	○柳澤 直哉
3178	軟弱地盤条件下での連続鉄筋コンクリート舗装(CRCP)の適応について	国土交通省 同 同	○藤井 寛治 五十嵐 一之 徳永 源造
3179	不同沈下による版下の空洞がCRC版応力に及ぼす影響の数値解析的検討	(一社)セメント協会 広島大学 ニチレキ(株)	○泉尾 英文 佐藤 良一 亀田 昭一

5日 604 15:15～16:15

②長寿命化・国土強靱化に資する舗装技術 [材料供給、その他材料]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3180	長時間運搬が可能なポリマー改質アスファルトの開発	ニチレキ(株) 同 同	○屋代 尚希 後藤 洋平 綿谷 茂
3181	複層型プレキャスト舗装の可能性について	大林道路(株) 同 同	○松下 陽哉 横山 昂洋 光谷 修平
3182	遠隔地に運搬可能なポリマー改質アスファルトの応用展開	ニチレキ(株) 同 同	○沼尾 悠汰 鈴木 健太 小野寺 陵太郎
3183	運搬中のアスファルト混合物の温度特性の考察	日工(株) 同 同	○田村 彰啓 川村 克裕 蓬莱 秀人

5日 605 15:15～16:30

③舗装の効率的な維持管理 [補修材料・補修工法④]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3184	加熱貯蔵サイロから出荷するアスファルト混合物の品質管理について	(株) 高速道路総合技術研究所 同	○山口 清人 加藤 亮
3185	高速道路工事におけるサイロ貯蔵合材の試験舗装について	大成ロテック (株) 東日本高速道路 (株)	○伊藤 大輔 松原 仁
3186	室内におけるアスファルト合材のサイロ貯蔵の再現方法に関する検討	大成ロテック (株) 同 同	○大村 崇滉 チャン タンニャット 岸江 頼房
3187	熱風循環式ヒータ車による既設グースアスファルト撤去工に関する適用性検討	首都高速道路 (株) 鹿島道路 (株) 首都高速道路 (株)	○橋本 僚 田口 翔太 吉田 祥二
3188	熱風循環式ヒータ車による既設グースアスファルト撤去工の実施工による検証	鹿島道路 (株) 首都高速道路 (株) 鹿島道路 (株)	○田口 翔大 橋本 僚 石本 習人

5日 606 15:15～16:15

④環境に配慮した舗装技術 [特殊舗装③]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3189	臭気を低減した施工性改善型明色バイндаの開発と追跡調査結果	日進化成 (株) 同 同	○茂木 喬平 深代 勝弘 木下 創
3190	県内産チップとロードヒーティングを併用し、積雪寒冷地域における歩行者の安全と円滑な通行を目指した木材チップ舗装の施工事例	ニチレキ (株) 東北ニチレキ工事 (株) ニチレキ (株)	○近松 稔之 田野口 隼人 鈴木 とおる
3191	土系舗装材を用いた水締めによる土系舗装と構造物の検討	大林道路 (株) 同	○古谷野 拡 小嶋 匠
3192	グースアスファルト舗装ヒューム排気システムの開発	日本道路 (株) 同 同	○太田 考信 浅井 友章 潮田 裕二

5日	609	15:15～16:30
----	-----	-------------

④環境に配慮した舗装技術 [リサイクル]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3193	ペットボトルリサイクル合材の開発について	北川ヒューテック（株） 同 （株）北陸リサイクルセンター	○西園 雄太 桶谷 達也 馬場 隆
3194	リサイクル材を用いた景観舗装の遊歩道への適用事例	砂町アスコン（株） 環境省 前田道路（株）	○宮崎 慎也 鴨井 昌司 滝澤 正樹
3195	環境配慮型樹脂を用いたアスファルト混合物の基礎検討	日本道路（株） 同 同	○平松 大銘 児玉 健 荒尾 慶文
3196	廃PET素材を原料としたアスファルト改質材の開発と適用事例	花王（株） 同 同	○柏木 啓孝 垣内 宏樹 白井 英治

5日	706	15:15～16:30
----	-----	-------------

⑤舗装と他の工学分野との連携による技術開発 [センシング技術]

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3197	AI搭載ステレオカメラによる人検知型ロードローラ転圧機 自動停止装置「EyeThink」の開発	日本道路（株） 同 同	○工藤 朗 小野寺 旭 太田 考信
3198	ETC2.0プローブデータによる舗装の局所劣化箇所の抽出	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 国土交通省 関東地方整備局	○田中 志和 植田 知孝 黒澤 稔
3199	建設工事における電子媒体及びウェアラブルカメラによる遠隔立会の評価	東日本高速道路（株） （株）ネクスコ・エンジニアリング北海道 同	○渡辺 光 藤井 直己 宗像 雅美
3200	電気抵抗による粒状路盤材の含水比の推定に向けた検討	ニチレキ（株） 同 東洋アルミニウム（株）	○馬場 弘毅 齋藤 賢人 左近 貴浩
3201	歩行者・車両を検知する舗装路面センシングに関する一検討	（株）NIPPO トヨタ自動車（株） 東京都市大学	○鍛冶 哲理 鷹羽 正三 関屋 英彦

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

ICT・新技術等	65	(4001～)
降雨・排水 ※集中討議セッション	66	(4009～)
土工構造物計画・設計	66	(4015～)
斜面①	67	(4021～)
斜面②	67	(4027～)
点検・補修	68	(4032～)
施工現場	68	(4037～)
地盤改良	69	(4043～)

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

4日 708 13:00～15:00

ICT・新技術等

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4001	道路防災診断における AI 及び ICT の活用について	国土交通省 中国地方整備局	○河口 隼人
4002	点群深層学習を用いた法面の異常検知	大阪大学大学院 同 京都大学経営管理大学院	○石川 大智 貝戸 清之 小林 潔司
4003	北近畿豊岡自動車道における 3次元地形測量の取り組みについて	国土交通省 豊岡河川国道事務所	○野瀬井 雅徳
4004	平成 30 年 7 月豪雨時における道路盛土のり面の土中の水の状態と雨量指標との関係	大阪産業大学 大阪大学	○小田 和広 小泉 圭吾
4005	ICT をフル活用した工事管理の効率化・高度化	清水建設（株） 同 中日本高速道路（株）	○池田 昇平 藏重 幹夫 中村 洋丈
4006	複雑な道路構造に対する ICT 土工の高度化に向けた取り組み	(株) オリエンタルコンサルタンツ (株) エイテック 同	○石井 健太郎 法村 憲一 白石 浩土
4007	MR 技術を活用した施工現場における生産性向上に関する取り組みについて	国土交通省 新潟国道事務所 小柳建設（株）	○竹内 正広 中静 真吾
4008	衛星 SAR を活用した道路土構造物の維持管理方法の提案	基礎地盤コンサルタンツ（株） 東京大学大学院 基礎地盤コンサルタンツ（株）	○吉川 猛 古関 潤一 柳浦 良行

4日	708	15:15～17:15	※集中討議セッション
----	-----	-------------	------------

降雨・排水

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4009	降雨強度図の更新検討に向けた降雨実態調査結果について	(株) 高速道路総合技術研究所 同	○久田 裕史 村上 豊和
4010	近年の道路の豪雨災害事例における降雨特性の分析	(国研) 土木研究所 同 同	○小出 央人 青山 翔吾 澤松 俊寿
4011	浸透水排除対策の効果検証手法に関する検討	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○平井 健太 日下 寛彦 中島 康介
4012	道路横断排水カルバート流入口の閉塞軽減施設の事例分析	(国研) 土木研究所 JFE 商事テールワン (株) (元国立研究開発法人土木研究所) (国研) 土木研究所	○宮下 千花 青木 信哉 青山 翔吾
4013	排水施設で生ずる溢水に着目した斜面崩壊機構に関する実験的考察	大阪大学 同 西日本高速道路 (株)	○岩本 遼生 小泉 圭吾 星野 弘明
4014	LPWA を活用した土中水分から斜面の健全性を評価する手法	大阪大学 西日本高速道路 (株) 同	○小泉 圭吾 星野 弘明 藤原 優

5日	スバル	9:30～11:00
----	-----	------------

土工構造物計画・設計

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4015	道路事業の3次元設計における今後の展開に関する一考察	復建調査設計 (株) 同 同	○宮里 隆 吉屋 和彦 向井 康裕
4016	東日本大震災の復興において津波・多重防御を担う道路盛土	(一財) 土木研究センター	○常田 賢一
4017	盛土内の応答加速度を考慮したニューマーク法の適用における一考察	西日本高速道路エンジニアリング関西(株) (一財) 土木研究センター 五大開発 (株)	○三好 忠和 常田 賢一 三谷 浩司
4018	カルバートの性能規定化に向けた性能と限界状態の設定に関する一考察	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○栗原 勇太 宮原 史 七澤 利明
4019	実大カルバート供試体を用いた表面気泡がコンクリートの品質に及ぼす影響の検討	(国研) 土木研究所 同 (一社) 道路プレキャストコンクリート製品技術協会	○櫻庭 浩樹 古賀 裕久 横塚 泰弘
4020	地震によるブロック積擁壁の変状傾向に関する統計分析	(公社) 全国土木コンクリートブロック協会 同 (国研) 土木研究所	○尾崎 正樹 近藤 和仁 澤松 俊寿

5日 708 9:30～11:00

斜面①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4021	道東自動車道 新得地区土石流対策工事に 関する工事報告	東日本高速道路（株）	○川島 正人
4022	上信越自動車道 蓬平地区の本線カルバ ート化による地すべり対策工の施工状況と検 討課題	東日本高速道路（株） 同 同	○山崎 康平 小川 正幸 小暮 英雄
4023	荷重計測データによるグラウンドアン カー緊張力の低下予測について	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株） 中日本高速道路（株） 三重大学大学院	○山崎 充 土屋 良之 酒井 俊典
4024	頭部排土に伴うグラウンドアンカー緊張力 の低下とその対策	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株） 同 中日本高速道路（株）	○岡戸 宏徳 山崎 充 岡田 和弘
4025	変朽安山岩層における斜面对策工について	国土交通省 鹿児島国道事務所 同 同	○森 賢二 島畑 郁朗 原田 圭大
4026	国道 361 号権兵衛峠道路の直轄権限代行に よる災害復旧事業について	国土交通省 中部地方整備局 同 同	○足助 優二 大野 毅 馬場 元樹

5日 708 11:15～12:30

斜面②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4027	長大切土法面における点群データを用いた 変状把握技術の検証	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 国土交通省 中国地方整備局	○吉川 昌宏 渡邊 一弘 藤原 年生
4028	DDA 落石シミュレーションのパラメータ が落石挙動に与える影響	岡山大学 同	○北内 宏明 西山 哲
4029	六甲有料道路における落石災害とシミュ レーションを利用した落石対策工の検討 (1) ー落石災害と近接する斜面の落石調査 及び危険度判定ー	応用地質（株） 同 同	○安藤 伸 渡邊 陽介 西野 勝裕
4030	六甲有料道路における落石災害とシミュ レーションを利用した落石対策工の検討 (2) ー落石シミュレーションの適用方法に ついてー	応用地質（株） 同 同	○馬 貴臣 安藤 伸 西野 勝裕
4031	六甲有料道路における落石災害とシミュ レーションを利用した落石対策工の検討 (3) ー道路区域と通行規制に配慮した落石 対策工の検討ー	応用地質（株） 神戸市道路公社 同	○西野 勝裕 中塚 孝 佃 友宏

5日 607 13:30～15:00

点検・補修

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4032	駿河湾沖地震を契機とした「盛土のり面緊急点検」の実態調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 国土交通省 中国地方整備局	○青山 淳 渡邊 一弘 藤原 年生
4033	道路機能に着目した特定道路土工構造物（盛土）の点検結果の整理分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 国土交通省 中国地方整備局 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○松本 優明 藤原 年生 渡邊 一弘
4034	道路土工構造物（切土）の2年分の点検結果の分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 国土交通省 中国地方整備局	○石原 一輝 渡邊 一弘 藤原 年生
4035	東北地方の高速道路におけるグラウンドアンカー健全度調査について	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北 東日本高速道路(株) 同	○茂泉 永輝 長尾 和之 舘岡 豊
4036	西瀬戸自動車道のボックスカルバートの補修方法検討について	本州四国連絡高速道路(株) 同 同	○信重 和紀 寺嶋 賢策 北村 岳伸

5日 708 13:30～15:00

施工現場

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4037	朝日温海道路における自然由来の重金属含有地山の対応について	国土交通省 羽越河川国道事務所 同 同	○石田 光和 瀧澤 秀則 森越 健二
4038	植物資材による重金属類を含む水の浄化と減量に向けた水路実験	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 愛媛大学	○岡崎 健治 倉橋 稔幸 榊原 正幸
4039	室内締固め試験の方法と施工管理における締固め度の組み合わせの違いが盛土の乾燥密度に与える影響	(国研) 土木研究所 同	○青山 翔吾 宮下 千花
4040	気泡混合軽量土の供試体採取方向別の強度評価	(株) 高速道路総合技術研究所 同	○橋本 祐貴 日下 寛彦
4041	異なる石灰系固化材を用いた改良土の強度発現性と固化材の評価	益村測量設計(株) (株) 高速道路総合技術研究所 益村測量設計(株)	○佐藤 克哉 安部 哲生 益村 公人
4042	供試体作製密度を整えた石灰系固化材による改良土の力学指標の相関	益村測量設計(株) (株) 高速道路総合技術研究所 益村測量設計(株)	○水野 敏裕 安部 哲生 益村 公人

5 日 708 15:15 ~ 16:30

地盤改良

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4043	盛土の周辺地盤への変位対策 - のり尻固結工法+グラベル基礎補強工法 -	国土交通省 北海道開発局 同 (株)ドーコン	○相馬 隆示 本田 卓己 原 靖
4044	浅層改良と深層改良を併用した地盤改良について その1 (併用型地盤改良概念と実験概要)	(国研) 土木研究所 同 (株) 東京ソイルリサーチ	○近藤 益央 間渕 利明 村田 健司
4045	浅層改良と深層改良を併用した地盤改良について その2 (遠心力載荷模型実験結果)	(株) 東京ソイルリサーチ (国研) 土木研究所 同	○村田 健司 間渕 利明 近藤 益央
4046	バックホウ混合の施工方法の違いが改良体のばらつきにもたらす影響の検討	(国研) 土木研究所	○山田 充
4047	国道208号大川佐賀道路における壁式改良工法の適用性	(一財) 土木研究センター 国土交通省 有明海沿岸国道事務所 (一財) 土木研究センター	○西川 剛一 城戸 康介 野村 正二

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

維持管理計画	71	(5001～)
鋼橋疲労	72	(5009～)
構造	73	(5017～)
道路橋の維持管理における DX の取り組み ※集中討議セッション	73	(5024～)
耐震	74	(5029～)
腐食対策①	74	(5035～)
土砂化	75	(5041～)
先端技術	75	(5047～)
床版①	76	(5053～)
腐食対策②	76	(5058～)
事故・災害復旧	77	(5063～)
床版②	77	(5068～)

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

4日 607 13:00～15:00

維持管理計画

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5001	鋼コンクリート混合桁橋のモニタリングへの取組み	内閣府 沖縄総合事務局 同	○塩澤 健志 福地 友博
5002	秩父橋（埼玉県秩父市）への直轄診断	国土交通省 同	○宮崎 修 菱川 龍
5003	都市狭隘部における小スパン橋梁の構造提案	大阪工業大学大学院 大阪工業大学 同	○尾曾 友哉 大山 理 今川 雄亮
5004	単体加速度センサを用いた交通荷重評価法	東京工業大学 同 同	○芦澤 那南 竹谷 晃一 佐々木 栄一
5005	ライフサイクルコスト（LCC）を考慮したFRP製橋梁検査路の活用について	国土交通省 甲府河川国道事務所 (株) 栗本鐵工所 国土交通省 甲府河川国道事務所	○森重 裕貴 竹田 誠 常陸 正
5006	部材・損傷のベンチマーク分析に基づく道路橋の補修優先順位の決定	大阪大学大学院 同 国土交通省 近畿道路メンテナンスセンター	○山村 昂也 貝戸 清之 増田 寛四郎
5007	マルチスケール統合解析による床版土砂化進展予測と維持管理活用	東京大学 同 同	○高橋 佑弥 古川 智也 石田 哲也
5008	盛りこぼし橋台のリスク管理と施工について	国土交通省 大隅河川国道事務所 同 同	○戸田 政宏 由浅 直洋 宮本 史晃

4日 608 13:00～15:00

鋼橋疲労

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5009	首都高速1号羽田線更新工事における耐久性及び施工性に優れた合成床版の採用	首都高速道路（株） 同 川田工業（株）	○大西 達也 小島 直之 石川 誠
5010	施工後約15年が経過したSFRC舗装の耐久性の追跡調査	(国研) 土木研究所 同 同	○篠田 隆作 上仙 靖 大西 孝典
5011	大規模更新の鋼床版箱桁の構造ディテールに対する疲労メカニズム	阪神高速道路（株） 同 同	○森岡 寛太 高田 佳彦 藤林 美早
5012	大規模更新湊川における中間橋脚の建設	阪神高速道路（株） 同 同	○山口 樹 高田 佳彦 藤林 美早
5013	阪堺大橋の鋼床版の疲労亀裂対策について	大阪市	○田中 涼太
5014	SFRC版上の素地調整方法が防水層の性能に与える影響について	(一財) 阪神高速先進技術研究所 阪神高速道路（株） 同	○神下 竜三 小瀬 詠理 青木 康素
5015	阪神高速における鋼箱桁橋の大規模更新方針検討	阪神高速道路（株） 同 同	○藤林 美早 高田 佳彦 山口 樹
5016	主桁交差部疲労損傷に対するUIT施工法について	首都高メンテナンス西東京（株） 同	○高柳 俊輔 中野 悟

4 日	609	13:00 ~ 15:00
-----	-----	---------------

構造

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5017	超高耐久橋梁「別荘谷橋」の建設	西日本高速道路（株） 同 三井住友建設（株）	○松尾 祐典 和田 圭仙 藤岡 泰輔
5018	二重合成構造の耐荷力に関する基礎的研究	大阪工業大学大学院 大阪工業大学 同	○岡山 尚輝 大山 理 今川 雄亮
5019	長大吊橋のケーブル部材の状態を考慮した解析的検討	本州四国連絡高速道路（株） 同	○金田 崇男 有馬 敬育
5020	長大斜張橋のケーブル部材の状態を考慮した解析的検討	本州四国連絡高速道路（株） 同	○有馬 敬育 金田 崇男
5021	熱履歴を受けた合成桁橋の合成挙動に関する解析的研究	大阪工業大学 同 同	○野上 雄暉 大山 理 今川 雄亮
5022	部材厚の異なるラーメン構造の剛域設定と応力の評価	日本大学 同	○利根川 鉄生 関 文夫
5023	「ボール紙で作る橋コンテスト」による児童へのインフラに関する意識醸成の取り組み	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 国土交通省	○長屋 和宏 尾崎 悠太 高橋 慶

4 日	スバル	15:15 ~ 17:30	※集中討議セッション
-----	-----	---------------	------------

道路橋の維持管理における DX の取り組み

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5024	橋梁維持管理の信頼性向上を実現する診断 AI システムの開発と実証	(国研) 土木研究所 同 同	○江口 康平 澤田 守 石田 雅博
5025	橋梁点検における AI 活用に関する研究	(株) 東設土木コンサルタント (株) 高速道路総合技術研究所 キャノンマーケティングジャパン（株）	○中川 光貴 本多 正和 新田 敏之
5026	橋梁定期点検における点検支援技術の活用事例	国土交通省 山口河川国道事務所	○吉川 修
5027	既設橋へのパノラマシステム適応による点検調査業務の省力化	(株) IHI インフラシステム 同 西日本高速道路エンジニアリング中国（株）	○宮崎 椋子 原 直人 鈴木 正範
5028	道路構造物点検の効率化の推進について	NEXCO 西日本イノベーションズ（株） 西日本高速道路（株） 同	○仲田 慶正 大西 隆信 中村 和博

4日 608 15:15～16:45

耐震

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5029	浜崎橋ロッキング橋脚の耐震補強設計概要	首都高速道路（株） 同 同	○中溝 翔 副島 直史 久保田 成是
5030	積層ゴム支承破断損傷の原因推定と補修事例	首都高速道路（株） 同 同	○小宮山 瑠介 神田 信也 板橋 遼
5031	シナリオデザイン設計法のすすめ	（国研）土木研究所 同 同	○大住 道生 中尾 尚史 横澤 直人
5032	道路橋の地震時挙動の多点モニタリングの取り組み事例	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○石井 洋輔 増田 仁
5033	高速道路におけるロッカー橋脚を有する橋梁の耐震補強計画	西日本高速道路（株） 同 同	○野田 翼 安里 俊則 佐溝 純一
5034	地震被害発生時のリダンダンシーに配慮した鋼道路橋合成桁の設計事例	国土交通省 長崎河川国道事務所	○梶尾 辰史

4日 609 15:15～16:45

腐食対策①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5035	道路におけるコンクリート構造物の非塩化物系凍結防止剤の影響	神戸市立工業高等専門学校 戸田建設（株）	○高科 豊 宮崎 航希
5036	福岡高速道路で適用した複数の金属溶射工法の現状報告	福岡北九州高速道路公社 同 （一財）土木研究センター	○二村 大輔 吉田 壘 三浦 正純
5037	水性塗料を用いる場合のミストコートに関する検討	首都高速道路（株） 同 日本エンジニアリング（株）	○松原 拓朗 山本 一貴 政門 哲夫
5038	鋼構造物用水系塗膜剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止について	山一化学工業（株） 同 同	○久保 麻威工 石井 達実 稲川 友康
5039	省工程塗料の耐久性試験	首都高速道路（株） 長崎大学 日本エンジニアリング（株）	○福島 大貴 中村 聖三 政門 哲夫
5040	赤坂見附鋼桁塗装工の報告	首都高メンテナンス西東京（株）	○八木 勝之

5日 608 9:30～11:00

土砂化

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5041	「スマート床版キャッチャー」による橋梁床版点検	ニチレキ（株） 同	○佐藤 和久 奥山 誠司
5042	赤外線サーモグラフィ法による床版上面損傷の自動検出手法の検討	西日本高速道路エンジニアリング四国（株） 同 同	○林 詳悟 川西 弘一 橋本 和明
5043	赤外線サーモグラフィ法による橋梁路面下の損傷検出における留意点	西日本高速道路エンジニアリング四国（株） 同 同	○川西 弘一 林 詳悟 橋本 和明
5044	AIを活用した床版上面の滞水推定手法の取り組み	（国研）土木研究所 同 同	○夏堀 格 石田 雅博 岩谷 祐太
5045	AEセンシングによるRC床版内在損傷および土砂化の検出	（株）東芝 同 京都大学大学院	○高峯 英文 渡部 一雄 奥出 信博
5046	橋梁部の舗装改良工事における床版上面の変状把握技術の開発	西日本高速道路エンジニアリング関西（株） 西日本高速道路（株）	○松井 俊吾 中村 和博

5日 609 9:30～11:00

先端技術

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5047	国道42号熊野宮川橋のBIM/CIMの取り組み	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○田中 誠 増田 貴充 林 克弘
5048	名護東道路の事業短縮を考慮した橋梁架設工法の検討とその施工について	内閣府 北部国道事務所 同	○水流 宗孝 川間 重一
5049	小型ドローンを使用した道路橋点検の効果と今後の課題	（株）アジア共同設計コンサルタント 同 同	○齊藤 拓也 小池 雪絵 木所 孝一
5050	松島高架橋（特定更新等）BIM/CIMおよびICTの活用・取り組み事例	西日本高速道路（株） 同 オリエンタル白石（株）・（株）IHIインフラ建設JV	○重村 知輝 木原 通太郎 崎谷 和也
5051	コンクリート構造物のデジタル打音検査とAIの活用（1）実験とAIによるデータベース構築	原子燃料工業（株） 同 東京大学	○匂坂 充行 礒部 仁博 山田 知典
5052	コンクリート構造物のデジタル打音検査とAIの活用（2）逆解析モデル	原子燃料工業（株） 同 東京大学	○松永 嵩 礒部 仁博 山田 知典

5日 608 11:15～12:30

床版①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5053	高浸透型防水材料の注ぎ込みによる砂利化した床版の耐疲労性回復効果に関する検討	日本大学 同 同	○大内 凌輔 前島 拓 子田 康弘
5054	素地調整方法がコンクリート床版表面の粗さや緻密さに与える影響に関する実験的検討	(一財) 阪神高速先進技術研究所 阪神高速道路（株） 同	○立花 徳啓 小瀬 詠理 青木 康素
5055	薄層増厚材の付着強度に及ぼす床版下地処理条件の検討	東京都 同 同	○前田 洋平 関口 幹夫 大石 雅登
5056	素地調整によるコンクリート床版面の凹凸形状の改善と脆弱部除去の効果	阪神高速道路（株） 同 (一財) 阪神高速先進技術研究所	○小瀬 詠理 青木 康素 神下 竜三
5057	コンクリート床版に適用するゲース混合物の要求性能と性能照査	日本道路（株） 同 同	○児玉 健 朴 希眞 梶谷 明宏

5日 609 11:15～12:30

腐食対策②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5058	瀬戸大橋における無機ジンクリッチペイント凝集破壊の補修状況と原因推定	本州四国連絡高速道路（株） 同 (株)ブリッジ・エンジニアリング	○大賀 弘貴 竹口 昌弘 山根 彰
5059	耐候性鋼材さび状態の定量的評価に及ぼす温湿度の影響に関する基礎検討	(国研) 土木研究所 同 同	○高橋 実 篠田 隆作 上仙 靖
5060	鋼橋塗替え塗膜の耐久性に及ぼす鋼材表面塩分の影響に関する検討	(国研) 土木研究所 同	○富山 禎仁 関島 竜太
5061	海浜環境における腐食鋼材の特性評価	(国研) 土木研究所 同	○関島 竜太 富山 禎仁
5062	茨城県における鋼道路橋の部分塗替え試行	(一財) 土木研究センター 茨城県 (一財) 茨城県建設技術公社	○中島 和俊 土生都 蒼太 土子 篤

5日 607 15:15～16:30

事故・災害復旧

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5063	令和元年の台風19号で被災した日野橋の復旧計画	東京都	○三輪 勇雄
5064	上関大橋における鉛直PC鋼棒破断による段差発生と応急復旧対策	山口県 同 同	○河原 和俊 石田 純一 中原 健司
5065	ドゥルックバンド形式の上関大橋における破断した鉛直PC鋼棒の調査	山口県 同 同	○石田 純一 坂本 賢次 河原 和俊
5066	熊本地震により落橋した阿蘇大橋の早期復旧に向けた施工技術（事例紹介）	国土交通省 熊本復興事務所 同 同	○藤川 真一 大川 雄一郎 鶴林 保彦
5067	熊本地震で被災したPCウェル工法を用いた橋梁基礎の被災要因分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○山田 薫 宮原 史 七澤 利明

5日 608 15:15～16:30

床版②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5068	供用開始54年経過した合成鈹桁橋コンクリート床版の衝撃加振による劣化度診断に関する基礎的研究	金沢大学 同 大日本コンサルタント（株）	○山口 啓 榊谷 浩 横山 広
5069	重交通路線下における長大高架橋の床版架替事業について	国土交通省 関東地方整備局 同 同	○土橋 一弘 上田 信也 斉藤 浩由
5070	超緻密高強度繊維補強コンクリートのG2性能照査試験結果およびNEXCOの橋梁における適用事例報告	ニチレキ（株） J-ティフコム施工協会 同	○山本 剛行 三田村 浩 馬場 弘毅
5071	フルスケールモデルを用いた橋梁RC床版の疲労解析と劣化進展機構の解明	東京大学 同 (株)コムスエンジニアリング	○房 捷 石田 哲也 土屋 智史

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

施工	79	(6001～)
計画・設計	80	(6009～)
維持管理 ※集中討議セッション	80	(6015～)
附属施設等	81	(6019～)
変状対策・更新技術	81	(6025～)
点検診断	82	(6031～)

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

4日 709 13:00～15:00

施工

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6001	AI技術を活用したトンネル切羽等の地山判定について	国土交通省 東北地方整備局 同	○中島 博行 工藤 金充
6002	先受工注入材における地山改良効果に関する実験的検討	(国研) 土木研究所 同 同	○佐々木 亨 松山 彰宏 小泉 悠
6003	互層地質における長期耐久性を考慮した新たなインバート設置判定の試行	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○小林 大助 中野 清人 山崎 哲也
6004	鉄道アンダーパス部におけるパイプルーフ工法の施工について	国土交通省 姫路河川国道事務所	○山本 歩
6005	粘土状凝灰岩を含む火山砕屑岩層のトンネル掘削	中日本高速道路(株)	○中村 洋丈
6006	中尾山トンネルの施工中の問題点と補助工法の検討	国土交通省 八代河川国道事務所 同	○橋本 和浩 安仲 努
6007	緑色岩区間におけるトンネル支保構造の検討について－一般国道40号音威子府村音中トンネルにおける施工報告	国土交通省 北海道開発局 同 清水建設(株)	○中村 順一 小川 修 松尾 勝司
6008	私市円山トンネル2期線の超近接施工について	西日本高速道路(株) 同 同	○佐藤 壮一郎 片山 一弘 滝 晴信

5日 709 9:30～11:00

計画・設計

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6009	小緑道路赤嶺トンネルに係る BIM / CIM 活用について	内閣府 沖縄総合事務局	○又吉 辰彦
6010	水窪佐久間道路における地質リスク検討	サンコーコンサルタント（株） 国土交通省 浜松河川国道事務所 サンコーコンサルタント（株）	○赤嶺 辰之介 松尾 賢二 伏木 治
6011	垂直縫地の地山挙動に及ぼす影響と力学的特性に関する検討	東京都立大学 西日本高速道路（株） 東京都立大学	○雨宮 智久 永田 哲也 砂金 伸治
6012	緩み荷重作用時の山岳トンネル覆工の挙動に関する数値解析的検討	（国研）土木研究所 同	○菊地 浩貴 日下 敦
6013	山岳トンネルの覆工におけるファイバー解析の適用性評価	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○藤原 茜 谷口 勝基 七澤 利明
6014	地震時のトンネル坑口部の力学的挙動に関する検討	東京都立大学 相模鉄道（株） 東京都立大学	○松岡 輝 山西 雄大 砂金 伸治

5日 709 11:15～12:30 ※集中討議セッション

維持管理

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6015	道路トンネル点検への点検支援技術適用に向けた課題への対応	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○落合 良隆 七澤 利明
6016	供用後のシールドトンネルの変状実態と施工時データの関係に関する一考察	（国研）土木研究所 同 同	○石村 利明 森本 智 佐々木 亨
6017	トンネル路面下空洞の発生メカニズム解明と対策検討	応用地質（株） 同 同	○壺澤 絵理架 佐藤 元紀 大塚 弘貴
6018	山手 TN 内補修工事同時施工による規制回数削減報告	首都高メンテナンス西東京（株）	○藤田 倫太郎

5日 707 13:30～15:00

付属施設等

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6019	繊維シートを用いた覆工のひび割れ対策工があと施工アンカーの耐荷力に及ぼす影響に関する室内載荷試験	(国研) 土木研究所 同 同	○小泉 悠 日下 敦 巽 義知
6020	トンネル内装工における新技術適用性の検討	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○沖原 穂高 中野 清人 山崎 哲也
6021	道路トンネルにおける自動車からの換気対象物質の排出量に関する実態調査	(国研) 土木研究所 同 同	○森本 智 日下 敦 石村 利明
6022	山手トンネルの結露対策換気運用検討	首都高速道路 (株) 同 同	○稲野辺 知礼 西浦 武 阿部 裕亮
6023	トンネル換気施設を排煙運用することによる避難環境確保の可能性について	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○菅原 千尋 中野 清人 山崎 哲也
6024	東京港トンネル非常口扉における蓄光材の暴露試験	首都高速道路 (株) 同	○松原 知也 塚田 ひなの

5日 709 13:30～15:00

変状対策・更新技術

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6025	トンネルはく落防止工に関する促進劣化試験の検討	(国研) 土木研究所 同 コニシ (株)	○島袋 智尋 新田 弘之 辻本 仁
6026	漏水及び横断目地伸縮が既設シート工に及ぼす影響に関する分析	(国研) 土木研究所 同 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○松山 彰宏 森本 智 落合 良隆
6027	開削トンネルにおける頂版および底版から漏水補修事例	首都高速道路 (株) 同	○笹森 哲洋 松下 大輔
6028	実トンネルの拡大掘削における既設覆工の応力変化に関する解析的検討	(国研) 土木研究所 同 同	○長谷川 慶彦 日下 敦 巽 義知
6029	振動計測結果に基づくトンネル更新時における既設覆工への影響考察	(国研) 土木研究所 同	○巽 義知 日下 敦
6030	既設山岳トンネルのインバート補強の合理化に関する検討	東京都立大学 大成建設 (株) 東京都立大学	○棗 拓史 石井 祥旭 砂金 伸治

5日 709 15:15～16:30

点検診断

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6031	直轄診断・修繕代行による老朽化トンネルへの技術支援（呉市仁方隧道）	国土交通省 広島国道事務所 同 同	○河田 健吾 梅谷 昌幸 遠藤 圭一
6032	デジタル打音検査を用いた背面空洞・路面下空洞の診断技術開発	原子燃料工業（株） 中央復建コンサルタンツ（株） 国土交通省 中部地方整備局	○藤吉 宏彰 栗山 廣志 尾崎 俊彦
6033	トンネル照明灯具の点検方法の検討	原子燃料工業（株） 同 同	○磯部 仁博 藤吉 宏彰 松永 嵩
6034	高速道路トンネルの鉄筋コンクリートの覆工における点検の高度化に関する研究	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○上谷 明生 中野 清人 山崎 哲也
6035	MMS点群データの解析学的信号処理によるトンネル表面のうき・剥離の検出	東京大学 同 東京大学（研究当時）	○水谷 司 山口 貴浩 工藤 寅嗣

一般論文・事例報告発表

ポスターセッション

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

4日 13:00～15:00

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1P01	写真測量による電線類地中化施工時における埋設物位置情報取得の可能性	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○小川 裕樹 大城 温 瀧本 真理
1P02	路側撮影動画による車種別車両計測とナンバープレート認識の複合認識システムの開発および解析データ仕様の影響検証	八千代エンジニアリング（株） 同 同	○菅原 宏明 小篠 耕平 藤井 純一郎
1P03	道路空間における雨水貯留浸透に着目したグリーンインフラの取り組み	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○長浜 庸介 大城 温 小川 裕樹
1P04	北海道初のラウンドアバウト整備と対策効果について -一般国道228号上ノ国町大留交差点-	国土交通省 北海道開発局 同 同	○金子 恵造 柴田 寛和 鶴谷 孝一
1P05	街のシンボルとなる橋梁を活用した地域活性化の取組 ～犀川大橋の事例から～	国土交通省 金沢河川国道事務所 同 同	○戸部 啓太郎 中村 圭弘 前田 達也
1P06	首都高速道路日本橋区間地下化事業における呉服橋・江戸橋出入口廃止前後の交通状況報告	首都高速道路（株） 同	○田島 貴一 中川 浩志
1P07	片側交互通行規制時のWCN可搬型路側機群を用いた待ち時間情報提供	西日本高速道路（株） 西日本高速道路エンジニアリング中国（株） （株）トリオン	○藤木 昂 今代 稔 小宮山 良実
1P08	三重県初のラウンドアバウト導入事例について	伊賀市 同	○深尾 竜也 稲森 洋哉

(2) 道路管理・修繕・更新部門

4日 15:15～16:00

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2P01	AIを活用した道路防災点検における危険度評価システムの提案	三井共同建設コンサルタント（株） 京都大学 大阪大学	○原田 紹臣 水山 高久 松井 保
2P02	航空LP図とGIS情報を活用した、新たな危険個所の抽出	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○植松 正和 水野 耕治 小澤 史
2P03	冬期道路安全診断支援ツールの開発	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○四辻 裕文 平澤 匡介 畠山 乃

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

5日 9:30～15:00

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3P01	施工性を改善した貼付け型路面補修材の性能評価	鹿島道路（株） 同 同	○富田 凌平 岩永 真和 篠塚 政則
3P02	竹チップを用いた舗装の防草効果の検証	福岡大学 ニチレキ（株） （株）NIPPO	○古賀 千佳嗣 丸島 孝和 緒方 泰三
3P03	遮熱性舗装の部分補修材の開発	前田道路（株） 同 同	○福山 菜美 清水 泰成 村田 純
3P04	供用中の道路におけるコンクリート舗装施工事例	国土交通省 香川河川国道事務所 同 同	○佐野 修 山田 麻里 宅間 宏翠
3P05	特殊アスファルトを使用したひび割れ対策混合物の効率的な選定	（株）NIPPO 同 同	○志賀 義伸 渡貫 辰彦 人見 信男
3P06	耐久性に優れた流し込みタイプ自然石舗装材の開発	前田道路（株） 同	○高 謙 牧野 幹
3P07	IoT・ICT技術を用いた舗装管理業務のスマート化—KSSL舗装統合管理アプリの開発・適用—	鹿島道路（株） 同 同	○渋谷 武彦 下田 博文 桑田 直人
3P08	再生加熱アスファルト混合物の特殊添加剤による施工性改善効果の検証	（株）NIPPO 同 同	○阿部 大輔 末原 俊史 門田 誠也
3P09	環境配慮型常温合材の開発検討	（株）NIPPO 同 同	○前田 勇大 小澤 伸也 吉田 雅義
3P10	フレコンバック詰め高耐久常温アスファルト混合物の離島での施工事例	前田道路（株） 同 同	○畠山 慶吾 牛込 直樹 鶴川 貴純
3P11	石炭灰・製鋼スラグ混合破砕材の路盤材利用の検討	福岡大学 同 同	○藤川 拓朗 佐藤 研一 古賀 千佳嗣
3P12	「弾性ニット型凍結抑制舗装」の騒音低減効果と適用事例	（株）NIPPO オサダ技研（株） （株）NIPPO	○黄 旭 石丸 博庸 柳澤 淳史
3P13	軽交通に適用した水性常温薄層カラー舗装材料の一検討	東亜道路工業（株） 同	○小林 義秀 小林 亜湖
3P14	VOC低減型常温アスファルト混合物の開発	（株）NIPPO 広島舗材（株） 同	○横山 実玲 梶浦 剛史 井上 誠

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3P15	高耐久アスファルト混合物の性能向上に関する検討	前田道路（株） 同	○田口 寛秋 福山 菜美
3P16	小規模管工事における仮復旧用混合物および加熱装置の開発	（株）佐藤渡辺 同	○下野 祥一 長嶺 秀登

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

4日 16:00～16:15

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4P01	大規模自然災害に対する道路土工の復旧対策 ー北海道胆振東部地震の現場事例教訓ー	北武コンサルタント（株） 安平町 北海道大学	○渡邊 善一 本多 義治 磯部 公一

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

4日 16:15～16:45

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5P01	GNSS測位技術を用いた橋梁の損傷検知	（一財）首都高速道路技術センター 首都高速道路（株） 坂田電機（株）	○張 広鋒 松原 拓朗 須賀原 慶久
5P02	橋全体系補強を適用した多連単純桁形式の耐震対策について	国土交通省 延岡河川国道事務所	○相島 伸行